

インドネシア国
海運安全性向上プロジェクト
事前評価調査報告書

平成 20 年 9 月
(2008年)

独立行政法人国際協力機構
インドネシア事務所

イネ事

J R

08-006

インドネシア国
海運安全性向上プロジェクト
事前評価調査報告書

平成 20 年 9 月
(2008年)

独立行政法人国際協力機構
インドネシア事務所

序 文

世界最大の島嶼国であるインドネシアは、経済活動、国民生活を海運に大きく依存しており、海運の安全性確保は同国にとって極めて重要な課題である。海運安全性確保のためには、自国籍船舶の安全確保とともに、自国に寄港する外国船舶についても安全基準を満足していない船舶（サブスタンダード船）の排除を図ることが不可欠であり、この方策としてポート・ステート・コントロール（PSC）は非常に有効な手段である。インドネシア海運は、外航貨物輸送の9割以上、内航でも相当の部分を外国船舶に依存しており、このような事情からも海運の安全確保におけるPSCの役割は重要である。

しかしながら、インドネシア当局によるPSCの実施状況は不十分であるため、インドネシアのPSC担当官の能力を高めるとともに効果的・効率的なPSC実施体制を確立することによって、インドネシアのPSCを強化し、同国海運の安全性向上を図ることを目的として、本件技術協力プロジェクトの実施が要請された。

これを受けて独立行政法人国際協力機構は、プロジェクト開始に向けた協議を行うため、インドネシア事務所次長の富谷喜一を団長とする事前評価調査団を編成し、8月10日から20日までの11日間にわたり、インドネシアに滞在し、首都ジャカルタにおいてインドネシア側関係者との協議やヒアリング・情報収集を行った後、先方実施機関である運輸省海運総局と協議を行い、協議議事録（M/M）の署名を取り交わした。

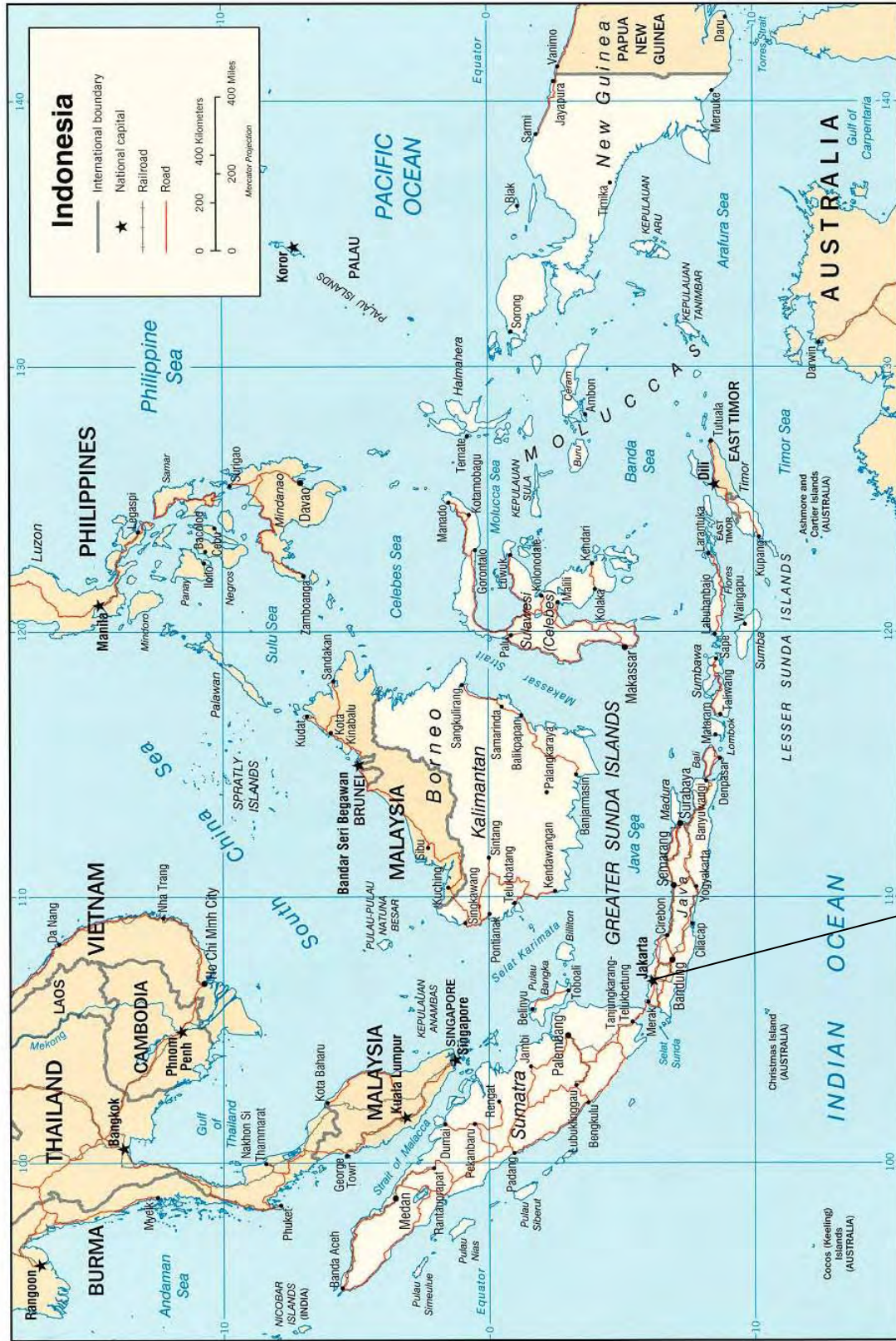
本報告書は、同調査団の調査・協議結果を取りまとめたものであり、今後の技術協力実施にあたって、関係方面に広く活用されることを願うものである。

ここに調査団の各位をはじめ、調査にご協力いただいた、外務省、国土交通省、在インドネシア日本大使館など、内外関係各機関の方々に深く謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第である。

平成20年 9 月

独立行政法人国際協力機構
インドネシア事務所長 坂本 隆

プロジェクトサイト位置図



Jakarta
運輸省海運総局



運輸省港湾行政事務所
(タンジュンプリオク港、ジャカルタ)



運輸省港湾行政事務所
(タンジュンプリオク港)における
データベース確認



タンジュンプリオク港における
ポート・ステート・コントロール実施状況



シンガポール籍船における検査状況

略 語 表

APCIS	Asia-Pacific Computerized Information System	アジア・太平洋地域における PSC データベース情報交換システム
C/P	Counterpart	カウンターパート
DGST	Directorate General of Sea Transportation	海運総局
EOJ	Embassy of Japan	在インドネシア日本大使館
ILO	International Labor Organization	国際労働機関
IMDG	International Maritime Dangerous Goods	国際海上危険物輸送
IMO	International Maritime Organization	国際海事機関
ISPS	International Ship and Port Facility Security	国際船舶・港湾保安
KPK	Komisi Pemberan Tasan Korupsi	汚職撲滅委員会
MARPOL	International Convention for the Prevention of Pollution from Ships	国際海洋汚染防止協定
MI	Maritime Inspection	船舶検査
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録（ミニッツ）
MOU	Memorandum of Understanding	覚書
P/O	Plan of Operation	活動計画
PSC	Port State Control	ポート・ステート・コントロール
PSCO	Port State Control Officer	外国船舶監督官
R/D	Record of Discussion	討議議事録
RPJM	Rencana Pembangunan Jangka Menengah Nasional	国家中期開発計画
SOLAS	International Convention for Safety of Life at Sea	海上における人命の安全のための国際条約
STCW	Standards of Training, Certification and Watch Keeping	
S/W	Scope of Work	実施協議録

目 次

序 文

プロジェクトサイト位置図

写 真

略語表

第1章 事前評価調査の概要	1
1-1 プロジェクトの背景	1
1-2 調査の目的	1
1-3 調査団の構成	1
1-4 日 程	2
1-5 主要面談者	2
第2章 要 約	3
第3章 協議事項及び調査結果	5
第4章 団長所感	10
付属資料	
1. ミニッツ	13
2. 現地視察結果及び考察	23
1. インドネシア国海運総局のPSCに関する取組み状況	23
2. PSCの関連法規	23
3. 組織	24
4. PSCOの採用・登用方法	25
5. 予算額の推移	25
6. 施設及び機材	26
7. PSCの実施体制	26
8. PSCOの研修体制	28
9. 同国への国際協力の状況	29
10. データ保管と情報公開	29
11. PSCの内部評価について	30
12. 考察	30
3. 質問票と回答	59
4. 要請案件調査票（専門家）（案）	63
5. 要請案件調査票（研修）（案）	65

第1章 事前評価調査の概要

1-1 プロジェクトの背景

世界最大の島嶼国であるインドネシアは、経済活動、国民生活を海運に大きく依存しており、海運の安全性確保は同国にとって極めて重要な課題である。海運安全性確保のためには、自国籍船舶の安全確保とともに、自国に寄港する外国船舶についても安全基準を満足していない船舶（サブスタンダード船）の排除を図ることが不可欠であり、この方策としてポート・ステート・コントロール（Port State Control : PSC）は非常に有効な手段である（PSCとは、寄港した外国船舶を対象に、当該船舶が条約で規定された安全基準等に適合しているかどうか確認するために、寄港国政府が立ち入り検査等を行う制度であり、欠陥が発見された船舶に対しては是正を指示し、その履行確保のためには拘留等の処分を科すことも可能である）。インドネシア海運は、外航貨物輸送の9割以上、内航でも相当の部分を外国船舶に依存しており、このような事情からも海運の安全確保におけるPSCの役割は重要である。

しかしながら、インドネシア当局によるPSCの実施状況は全く不十分なものであり、東京MOU（アジア・太平洋地域におけるPSCの実効性確保のための域内協力体制強化を目的として採択された域内各国間の覚書）の加盟国の中でも最低のレベルにあるのが実状である。かかる状態の主な原因は、インドネシアのPSC担当官の能力不足並びに適切なPSC実施体制の未整備によるものであるが、PSCにおいて欠陥が適確に発見され是正がなされなければ、サブスタンダード船の横行を許す結果となり、海上交通における潜在的な危険性を増大させるとともに、公正で適切な海運競争を阻害する要因ともなる。このような状況に鑑み、インドネシアのPSC担当官の能力を高めるとともに効果的・効率的なPSC実施体制を確立することによって、インドネシアのPSCを強化し、同国海運の安全性向上を図るため、本件技術協力プロジェクトの実施が要請された。

1-2 調査の目的

本件技術協力プロジェクトを実施するにあたり、要請背景の確認、技術協力プロジェクトの範囲・内容・実施条件等を調査し、その実施の妥当性を検討するとともに、必要な条件が整えば技術協力プロジェクトの実施に係る協議議事録（Minutes of Meeting : M/M）について協議・合意することを目的として事前調査を実施した。

1-3 調査団の構成

担当	氏名	所属
団長・総括	富谷 喜一	JICAインドネシア事務所次長
船体安全検査	大山 元	国土交通省神戸運輸監理部海事振興部 船舶産業課長
運航規定・教育	熊上 尚男	独立行政法人航海訓練所運航部船員課 第二配乗担当教授
協力企画	柿岡 直樹	JICAインドネシア事務所

1-4 日程

			AM	PM	Place	stay
1	10-Aug-08	Sun	Narita or Kansai	-Jakarta		Jakarta
2	11-Aug-08	Mon	JICA事務所打合せ, 日本大使館表敬	運輸省海運総局表敬, 要請背景の確認	JICA, EOJ, DGST	Jakarta
3	12-Aug-08	Tue	実施体制の確認(組織・予算・法規制他)		DGST	Jakarta
4	13-Aug-08	Wed	タンジュンプリオク港視察, PSC実施状況の確認		Tj. Priok Port	Jakarta
5	14-Aug-08	Thu	ミニッツ協議		DGST	Jakarta
6	15-Aug-08	Fri	ミニッツ協議, 専門家要請書案, 研修計画案作成		DGST	Jakarta
7	16-Aug-08	Sat	報告書作成, 資料整理			Jakarta
8	17-Aug-08	Sun	報告書作成, 資料整理			Jakarta
9	18-Aug-08	Mon	報告書作成, 資料整理			Jakarta
10	19-Aug-08	Tue	ミニッツ最終協議・署名		DGST	Jakarta
11	20-Aug-08	Wed	現地調査報告(TV会議)	日本大使館報告, Jakarta-	JICA, EOJ	Jakarta
12	21-Aug-08	Thu	-Narita or Kansai			
13	22-Aug-08	Fri				
14	23-Aug-08	Sat				

1-5 主要面談者

(1) 運輸省海運総局警備救難局

Director of Sea and Coast Guard

Capt. Djoni A. Algamar

Head of Sub Directorate (Patrol and Security)

Mr. Untung

Head of Sub Directorate (Facilities Management)

Capt. HM. Thamrin

Head of Section (Harbors), Head of Sub Directorate

(Shipping of Law & Order)

Capt. Supardi

Head of Section (Ships Accident), Head of Sub Directorate

(Shipping of Law & Order)

Capt. Teddy Mayandi

(2) 運輸省タンジュンプリオク港港湾行政事務所

Port State Control Officer

Mr. Heri Setiyawan

第2章 要約

事前評価調査団は8月10日から20日までの11日間にわたり、インドネシアに滞在し、首都ジャカルタにおいてインドネシア側関係者との協議やヒアリング・情報収集を行った後、先方実施機関である運輸省海運総局と一連の協議を行った。

その結果、本件技術協力プロジェクトの要請背景、必要性を確認するとともに、目的・プロジェクト内容・調査期間等の協議概要をミニッツにまとめ、8月19日に署名交換を行った（付属資料1参照）。

これらにより、合意されたプロジェクトの概要は、以下のとおりである。

(1) プロジェクト名称

インドネシア国海運安全性向上プロジェクト

The Project for Improvement of Maritime Transport Safety in the Republic of Indonesia

(2) 目標

- ・上位目標：サブスタンダード船排除を通じ、インドネシアにおける海運の安全性が向上する。
- ・プロジェクト目標：インドネシアのPSCの実施体制が強化される。

(3) 成果

1. インドネシアのPSC担当官の能力が強化される。
2. 効果的・効率的なPSC実施体制の確立。（実用的なPSC実施マニュアルの整備を含む。）

(4) 活動

- 1-1 PSCに係る国際条約に基づく現在の検査体制・制度を確認する。
- 1-2 現在の検査体制・制度に係る改善点を分析の上、アクションプランをまとめる。
- 1-3 実用的なPSC実施マニュアルを整備し、PSC担当官の質を向上する。

- 2-1 現在（これまで）の訓練コースやシステムを確認の上、ニーズアセスメントを実施する。
- 2-2 研修計画を立案の上、本邦研修の準備を行う。
- 2-3 （PSC研修指導官を含め）日本における研修を実施する。
- 2-4 研修のフィードバックを行う。

- 3-1 セミナー・ワークショップ・研修開催のためのタスクフォースを設立する。
- 3-2 セミナー・ワークショップ・研修開催のための準備を行う。
- 3-3 セミナー・ワークショップ・研修を開催する。

(5) プロジェクト実施機関

運輸省海運総局

(6) 協力期間

24ヶ月（長期専門家派遣から24ヶ月）

(7) 実施体制

運輸省海運総局の幹部並びに直接技術移転を受ける海運総局職員から構成されるプロジェクトメンバーによって実施。

(8) 投入

<日本側>

- ・ 専門家：長期専門家 1名、短期専門家 4名程度
- ・ 本邦研修：4名×3週間×2回程度を実施
- ・ 機材：特になし

<インドネシア側>

プロジェクト実施に必要な設備、執務室の提供。プロジェクト活動の推進に必要なカウンターパートの配置。プロジェクト運営実施予算の負担。

第3章 協議事項及び調査結果

ミニッツで確認した事項を中心に、調査結果をまとめた。

項目	対処方針	調査結果
<p>(1) S/W、M/M署名相手及び使用言語</p>	<p>ア. M/Mの署名相手方としては、本件実施機関である運輸省海運総局長以上を想定しているが、先方の意向を確認の上、決定する。</p>	<p>インドネシア側の意向を確認の上、運輸省海運総局警備救難局長を署名相手方とした (M/Mの表紙参照)。</p>
	<p>イ. 署名にあたっては、免税措置、便宜供与等、先方負担事項の実施について問題ない旨確認する。</p>	<p>対処方針どおり合意した。</p>
	<p>ウ. M/Mの使用言語は英語とする。</p>	<p>先方と確認の上、M/Mの署名を行った。</p>
<p>(2) プロジェクト実施の妥当性検証</p>	<p>「小規模技術協力プロジェクト」に係る事前評価として、①対象分野のニーズはあるのかという必要性の視点、②相手国の政策や日本の優先順位に合致しているかといった優先度の視点、③なぜこのようなプロジェクト目標を持つ案件を選定したのか、ターゲットグループの設定は適切か、などの手段としてのプロジェクトの適切性の視点から、予測・見込みに基づき、妥当性の評価を行う。</p>	<p>国家中期開発計画(Rencana Pembangunan Jangka Menengah Nasional: RPJM) (2004～2009) には、3つの課題の一つとして「インドネシア国民の福祉の向上」が存在し、この中の優先事項として「インフラ開発の促進」が挙げられている。</p> <p>海運セクターの指針の一つとして、海上輸送の発展(海上輸送の組織と規則の再構築)が謳われており、定期的な船舶検査、立ち入り検査、及び船舶の堪航性の確認等に係る人的能力の向上が課題となっている。インドネシア籍船は海外PSCで処分されることが多く、PSC検査能力の向上を図ることは、国家中期開発計画のみならず、国際的にも必要性・緊急性が高い。</p> <p>また、我が国の対インドネシア国別援助計画(平成16年)並びにJICA国別事業実施計画(平成18年)における経済インフラ整備にも合致し、テロ保安対策支援にも寄与するものである。</p> <p>現在、インドネシア政府によるPSCは東京MOU加盟国の中でも最低レベルにあり、PSC担当官は能力不十分のため立ち入り検査で適確に船舶の欠陥を指摘できず、改善命令等も適切に発出されないことから、安全基準を満足していない船舶(サブスタンダード船)が欠陥を是正しないまま航行を続けることを許す結果となっている。さらに、</p>

		<p>インドネシアのPSCは厳しくないとの評判から、同国の各港にサブスタンダード船が多数入港する可能性も懸念されている。</p> <p>PSCは1度受けて欠陥が発見されなければ、その後一定期間は他国に寄港した際もPSCの対象外とされる原則があり、インドネシアの港での不十分なPSCが、サブスタンダード船に一定期間の不当なお墨付きを与えることとなって、その横行を許す大きな原因の一つとなることも想定される。</p> <p>かかる現状は、海難による人命喪失のリスク、あるいはインドネシアを含むアジア・太平洋地域各国の周辺海域での座礁事故、海洋汚染等による損害発生のリスクを増大させるものであり、早急な改善が喫緊の課題であり、本件プロジェクトによってインドネシアのPSC強化を推進する妥当性は高い。</p>
(3) 技術協力プロジェクトの内容	<p>協力内容の骨子はM/M案のとおりとするが、インドネシア側より要望があった場合は、以下に基づき検討し、協力期間・投入・必要経費に大幅な変更を来さない判断される場合は、これを受け入れることとする。</p> <p>ア. 上位目標 要請書どおりとする。 「サブスタンダード船排除を通じ、インドネシアにおける海運の安全性が向上する」</p> <p>イ. プロジェクト目標 要請書どおりとする。 「インドネシアのPSCの実施体制が強化される」</p> <p>ウ. 成果 要請書どおりとする。 「1. インドネシアのPSC担当官の能力が強化される」 「2. 効果的・効率的なPSC実施体制の確立（実用的なPSC実施マニュアルの整備を含む。）」</p> <p>エ. 活動 要請書どおり、2つの成果の達成に必要な活動を行う。</p>	<p>対処方針どおり合意した。</p> <p>対処方針どおり合意した。</p> <p>対処方針どおり合意した。</p> <p>ほぼ対処方針どおり合意した。 ただし、以下の点については、語句を加筆修正した。</p>

	<p>1-1 国際条約に基づく現在の検査体制・制度を確認する。</p> <p>1-2 現在の検査体制・制度に係る改善点を分析の上、アクションプランをまとめる。</p> <p>1-3 実用的なPSC実施マニュアルを整備し、PSC担当官の質を向上する。</p> <p>2-1 現在（これまで）の訓練コースやシステムを確認の上、ニーズアセスメントを実施する。</p> <p>2-2 研修計画を立案の上、本邦研修の準備を行う。</p> <p>2-3 日本における研修を実施する。</p> <p>2-4 研修のフィードバックを行う。</p> <p>3-1 セミナー・ワークショップ開催のためのタスクフォースを設立する。</p> <p>3-2 セミナー・ワークショップ開催のための準備を行う。</p> <p>3-3 セミナー・ワークショップを開催する。</p> <p>オ. 投入 要請書のとおり、主たる日本側の投入としては、専門家とC/P研修並びにセミナー・ワークショップ開催支援とする。投入時期と活動の関係についてはP/O案をたたき台とし、事前調査を通じて調整を行う。</p> <p>【長期専門家】 外国船舶監督強化 2年×1名</p> <p>【短期専門家】 〇〇分野（分野案：組織強化分野、制度形成分野、実務訓練分野） 200〇年度 〇週×〇名 200〇年度 〇週×〇名</p> <p>【本邦研修】 〇〇分野（分野詳細は調査において検討） 200〇年度 〇週×〇名 200〇年度 〇週×〇名</p>	<p>1-1 <u>PSCに係る</u>国際条約に基づく現在の検査体制・制度を確認する。</p> <p>2-3 <u>(PSC研修指導官を含め)</u>日本における研修を実施する。</p> <p>3-1 セミナー・ワークショップ・<u>研修</u>開催のためのタスクフォースを設立する。</p> <p>3-2 セミナー・ワークショップ・<u>研修</u>開催のための準備を行う。</p> <p>3-3 セミナー・ワークショップ・<u>研修</u>を開催する。</p> <p>対処方針に基づき以下のとおり合意した。</p> <p>【長期専門家】 外国船舶監督強化 2年×1名</p> <p>【短期専門家】 船舶検査 6週×2名 条約要件 6週×1名 訓練管理 6週×1名</p> <p>【本邦研修】 PSC担当官及びPSC研修指導官を対象とする研修 4名×3週×2回</p>
--	--	---

	<p>【機材】 (なし)</p>	<p>【機材】 先方から機材の要請はないところ、必要に応じて専門家の携行機材を検討することとし、ミニッツにて(供与)機材はなしとした。</p>
	<p>カ. 協力期間 要請書どおり、当初案として2年間にて議論を行うこととする。 なお、現地調査の結果、変更の必要がある場合には、協力内容との関連性及び必要経費への影響等調査団内で検討し、その結果を先方政府と協議の上、妥当な期間を設定する。ただし、大幅な投入増加の必要性が生じた場合には、先方の予算・組織・人員・研修や資格制度などを確認し、これらが十分ある場合のみ検討する。 対応策としては、後継プロジェクトとして別途要請してもらうなど、本件プロジェクトで対応可能な範囲として絞り込むことにより対応を検討する。</p>	<p>対処方針どおり長期専門家着任日から2年間にて合意した。</p>
	<p>キ. 目標及び活動を評価するための指標 プロジェクトの目標及び活動を評価するための指標を設定し、一定期間ごとに各指標について測定を実施し、進捗状況をレビューする。 指標(案) ・PSCマニュアルを使用して実施した検査の件数 ・訓練コースを実施した件数 ・PSC担当官に対して抜き打ちテストを実施しその点数を指標とする ・有資格者数の増加人数</p>	<p>対処方針に基づき議論した結果、以下の内容にて合意した。 ・PSCマニュアルを使用して実施した適切な検査の件数 ・セミナー・ワークショップ・訓練コースを実施した研修 ・有資格者数の増加人数</p>
<p>(4) インドネシア側実施体制</p>	<p>運輸省海運総局の幹部並びに直接技術移転を受ける職員等から構成されるプロジェクト実施メンバーを先方と協議の上、選定し、M/Mにて確認する。 また、プロジェクトの進捗確認、意見交換、活動修正の検討等を目的として、合同調整委員会を最低でも年に1度開催することを検討する。</p>	<p>対処方針どおり合意した。</p>

<p>(5) インドネシア側 便宜供与等先方 負担事項</p>	<p>定型R/Dを基本とする先方負担事項 (M/M案第Ⅲ項)を確認する。</p> <p>【事務所スペース等の提供】 専門家事務所スペース、コピー機、 電話、FAX、LAN等必要な作業環境 等はある限り先方が提供するよう 求める。 専門家事務所スペース、備品並びに 会議用スペースについては、円滑な 業務実施の観点から実施機関である 運輸省にスペースを確保するよう求 め、先方の了解をM/Mにて確認する。</p> <p>【現地踏査等に同行するカウンターパ ート職員に係る諸経費】 カウンターパートに係る給与・日 当・調査旅費等は、M/Mに従って基 本的にはインドネシア側の負担とな ることを説明し、先方の理解に努め る。</p>	<p>基本的に対処方針どおり合意した。 ただし、対処方針M/M案Ⅲ 6 (4) 「Means of transport for the Japanese experts…」と対処方針M/M案Ⅲ 6 (5) 「Assistance to find suitably furnished accommodation…」については、対処方 針M/M案Ⅲ 6 に記載の「…at its own expense」の存在から、先方が同意困難 となったため(先月、汚職撲滅委員会 の査察等を受けたこともあり、担当局 として慎重な対応が必要との先方説 明)、実質的には費用発生はないと判断 の上、M/M案Ⅲ 6 の「…at its own expense」を削除した条項Ⅲ 7 を挿入し、 第7項(1)、(2)として上述の2文 を表現した。</p> <p>なお、先方からプロジェクト経費の 負担が困難である説明があったもの の、カウンターパート職員に係る諸経 費等に対して繰り返し先方負担を依頼 した。</p>
<p>(6) 大使館への報告 等</p>	<p>協議の進捗状況、内容及び結果につ いては、適宜、在インドネシア日本大 使館と連絡を取りつつ、調査団におい て柔軟に対応する。</p>	<p>対処方針どおり、適時、在インドネ シア日本大使館と連絡を取りつつ柔軟 に対応した。</p>

第4章 団長所感

今次、事前調査は8月10日より20日にかけて、延べ11日間にわたり行われた。その間、国土交通省海事局より推薦派遣された2名の調査団員は、インドネシア国運輸省海運総局、特に本件を担当する警備救難局を対象として、組織・人員などに係る現状調査をはじめ、ポート・ステート・コントロール（PSC）に係る情報収集などを精力的に行い、技術協力の計画を作成することができた。

本調査に関しては、①7月上旬に独立捜査機関である汚職撲滅委員会（Komisi Pemberantasan Korupsi：KPK）が警備艇入札に係る疑惑により運輸省海運総局を家宅捜索し、警備救難局長がKPKの参考人として捜査協力を行う必要性が生じた結果、事前の質問票回答の進捗が芳しくない状態となったこと、②当初、署名相手として想定していた海運総局長が8月1日に定年退官することが直前に判明したこと、③PSCに係る国際協議の場である東京MOU会議が8月1日から7日まで、バリにて開催される予定であったのが延期となったことなど、複数の問題が発生し、事前調査実施が危ぶまれたものの、最終的にはミニッツ署名に至るとともに、関連情報の収集も無事にできたことは幸いであった。

海運総局に対するPSCに係るドナー協力が今年は集中しており、8月にはオーストラリアと米国の研修が実施されるなど、国際的な注目も高まっている分野である。

PSCに関しては、1993年12月に東京において「アジア・太平洋地域におけるPSCの協力体制に関する覚書（Memorandum of Understanding on Port State Control in the Asia-Pacific Region）」が関係国の間で合意され（「東京MOU」）、インドネシアも「東京MOU」に基づきPSC実施の協調体制に参加しているアジア・太平洋地域18ヶ国の一つである。従って、インドネシアにおけるこれまでの実績（ベースライン）が存在するとともに、今後の成果も定量的に公開されることになるのが特徴と言える。

今後行う技術協力は、先方C/Pに対してキャパシティディベロップメントを図り、組織の能力強化を行うとともに、PSC実施マニュアルの整備等を通じて自立発展性を高めるための仕掛け（システム）を構築していくことが重要である。

今次、事前調査においては、国土交通省の関係者には約10日間にわたる調査活動に協力をいただき、この紙面において改めて謝意を表します。

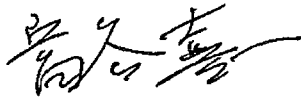
付 属 資 料

1. ミニッツ
2. 現地視察結果及び考察
 1. インドネシア国海運総局の PSC に関する取組み状況
 2. PSC の関連法規
 3. 組織
 4. PSCO の採用・登用方法
 5. 予算額の推移
 6. 施設及び機材
 7. PSC の実施体制
 8. PSCO の研修体制
 9. 同国への国際協力の状況
 10. データ保管と情報公開
 11. PSC の内部評価について
 12. 考察
3. 質問票と回答
4. 要請案件調査票（専門家）（案）
5. 要請案件調査票（研修）（案）

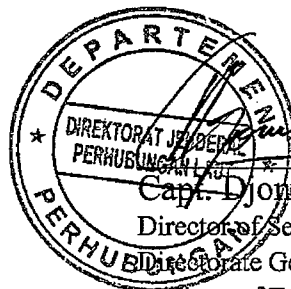
MINUTES OF MEETING
ON
THE PREPARATORY STUDY
FOR
“THE PROJECT FOR IMPROVEMENT
OF
MARITIME TRANSPORT SAFETY”
IN
THE REPUBLIC OF INDONESIA

AGREED UPON BETWEEN
MINISTRY OF TRANSPORTATION
AND
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Jakarta, August 19, 2008



Mr. Kiichi Tomiya
Leader
The Preparatory Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Capt. Djoni A. Algamar
Director of Sea and Coast Guard
Directorate General of Sea Transportation
Ministry of Transportation
Indonesia

In response to the request from the Government of the Republic of Indonesia, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched the Preparatory Study Team, headed by Mr. Kiichi Tomiya (hereinafter referred to as "the Team"), to the Republic of Indonesia from August 10 to August 20, 2008, for clarifying the framework of the technical cooperation program concerning the "The Project for Improvement of Maritime Transport Safety in the Republic of Indonesia" (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with Directorate General of Sea Transportation (hereinafter referred to as "DGST"), Ministry of Transportation, and other authorities concerned.

As a result of the discussions, the Team and Indonesian side have agreed to the following items.

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND THE GOVERNMENT OF INDONESIA

1. The Government of Indonesia will implement the Project in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Outline of the Project, which is given in Annex I. The Plan of Operation is also shown in Annex II.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, JICA will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

1. **DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS**
JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex III.
2. **TRAINING OF INDONESIAN PERSONNEL IN JAPAN**
JICA will receive the Indonesian personnel connected with the Project for technical training in Japan as listed in Annex IV.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF INDONESIA

1. The Government of Indonesia will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Government of Indonesia will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Indonesian nationals as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of Indonesia.

3. The Government of Indonesia will grant in Indonesia privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families, which are no less favorable than those accorded to experts of third countries working in Indonesia under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
4. The Government of Indonesia will ensure that the Equipment will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex III.
5. The Government of Indonesia will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Indonesian personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in Indonesia, the Government of Indonesia will take necessary measures to provide at its own expense:
 - (1) Services of the Indonesian counterpart personnel and administrative personnel as listed in IV;
 - (2) Land, buildings and facilities as listed in Annex V;
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided by JICA;
7. In accordance with the laws and regulations in force in Indonesia, the Government of Indonesia will take necessary measures to provide:
 - (1) Means of transport for the Japanese experts for official travel within Indonesia; and
 - (2) Assistance to find suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families.
8. In accordance with the laws and regulations in force in Indonesia, the Government of Indonesia will take necessary measures to meet:
 - (1) Expenses necessary for transportation within Indonesia of the Equipment as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in Indonesia on the Equipment; and
 - (3) Running expenses for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Director General of Sea Transportation, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. Director of Sea and Coast Guard, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. Counterpart personnel in, but not restricted to, the following fields
 - (1) Staff of Sub Directorate of Shipping Safety
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Indonesian counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. A Joint Coordination Committee meeting will be held at least once in a year between authorities concerned from Indonesian side and Japanese side for the following;
 - (1) To review the overall progress and achievements of the Project,
 - (2) To exchange views on major issues arising from or in connection with the Project, and
 - (3) To work out the modification of activities depending on the necessity

V. CLAIMS AGAINST JICA EXPERTS

The Government of Indonesia undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in Indonesia except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VI. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and Indonesian Government on any major issues arising from, or in connection with, this Attached Document.

VII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of Indonesia, the Government of Indonesia will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Indonesia.

VIII. TERM OF COOPERATION

The duration of the Project under this Attached Document will be conducted for approximately 2 years from the arrival of the Long Term Expert.

ANNEX I	OUTLINE OF PROJECT
ANNEX II	TENTATIVE PLAN OF OPERATION
ANNEX III	LIST OF JAPANESE EXPERTS
ANNEX IV	LIST OF TRAINEES IN JAPAN
ANNEX V	LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES
ANNEX VI	LIST OF PARTICIPANTS

ANNEX I OUTLINE OF PROJECT

1. Overall Goal

Improvement of Safety of maritime transport through eliminating sub-standard ships

2. Project Purpose

Enhancement of the Indonesian's Port State Control (PSC) inspections

3. Outputs

1. Upgrade of capacity of PSC officers of the Indonesian authority
2. Establishment of effective / efficient PSC implementation system such as formulation of practical PSC inspection manuals

4. Activities

- 1.1 To review the present condition of the institution and the assessment / inspection based on International Code for PSC
- 1.2 To make the improvements and develop the action plan for PSC officers
- 1.3 To formulate the practical PSC inspection manuals and to strengthen the quality of PSC officers

- 2.1 To review the present condition of education and training system and to carry out the needs assessment for Inspection.
- 2.2 Preparation of training courses in Japan.
- 2.3 Implementation of trainings in Japan, including Trainers of Trainees for PSC.
- 2.4 Feedback of training program.

- 3.1 Establishment of task force for seminar / workshop / training.
- 3.2 Preparation of seminar / workshop / training.
- 3.3 Conducting seminar / workshop / training.

5. Objectively Verifiable Indicators on Project Purpose

1. The number of appropriate inspections to be carried out on the basis of PSC manual
2. The number of seminar / workshop / training
3. The increased number of qualified PSC officers

ANNEX II TENTATIVE PLAN OF OPERATION

The both sides confirmed the Plan of Operation (hereinafter referred to as "P/O") of the Project. This P/O has been formulated for the purpose of realizing the detailed schedule of the activities in the outline of project as shown in the next page. This P/O is subject to budget approval. When necessity arises, both sides will consult to modify P/O.

ANNEX-1

Tentative Plan of Operation (P/O)

Input		Months																								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
Expert					Strengthening of Port State Control 1 person x 24 months							Ship Inspection Convention Requirement 2 persons x 6 weeks												Ship Inspection Training Management 2 persons x 6 weeks		
Counterpart(C/P) Training										C/P training 4 persons x 3 weeks										C/P training 4 persons x 3 weeks						
Seminar / Workshop / Training											Jakarta and Makassar 3-4 weeks												Jakarta and Surabaya 3-4 weeks			
Expected Outputs	Activities																									
1. Upgrade of capacity of PSC officers of the Indonesian authority 2. Establishment of effective / efficient PSC implementation system such as formulation of practical PSC inspection manuals	1.1 To review the present condition of the institution and the assessment / inspection based on International Code for PSC																									
	1.2 To make the improvements and develop the action plan for PSC officers																									
	1.3 To formulate the practical PSC inspection manuals and to strengthen the quality of PSC officers																									
	2.1 To review the present condition of education and training system and to carry out the needs assessment for inspection																									
	2.2 Preparation of training courses in Japan																									
	2.3 Implementation of trainings in Japan, including Trainers of Trainees for PSC																									
	2.4 Feedback of training program																									
	3.1 Establishment of task force for seminar / workshop / training																									
	3.2 Preparation of seminar / workshop / training																									
	3.3 Conducting seminar / workshop / training																									

ANNEX III LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Experts in the Following Fields
 - (1) Strengthening of Port State Control
 - (2) Ship Inspection
 - (3) Convention Requirement
 - (4) Training Management
2. In other related fields as mutually agreed upon

ANNEX IV LIST OF TRAINEES IN JAPAN

1. Trainees in the Following Fields
 - (1) Port State Control Officers
 - (2) Trainers of Trainee for Port State Control
2. In other related fields as mutually agreed upon

ANNEX V LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Space sufficient for implementation of the Project such as meeting rooms necessary for technical transfer as well as space necessary for the installation and storage of the machinery, equipment and materials provided by JICA.
2. Office and facilities for JICA experts,
3. Other facilities mutually agree upon as necessary.

ANNEX VI LIST OF PARTICIPANTS

Indonesian Side

(Ministry of Transportation)

Capt. Djoni A. Algamar

Mr. Untung

Capt. HM. Thamrin

Capt. Supardi

Mr. Heri Setiyawan

Capt. Teddy Mayandi

Director of Sea and Coast Guard, DGST

Head of Sub Directorate (Patrol and Security),

Directorate of Sea and Coast Guard, DGST

Head of Sub Directorate (Facilities Management),

Directorate of Sea and Coast Guard, DGST

Head of Section (Harbors), Head of Sub Directorate

(Shipping of Law & Order), Directorate of Sea and

Coast Guard, DGST

PSCO, Port of Tj. Priok

Head of Section (Ships Accident), Head of Sub

Directorate (Shipping of Law & Order), Directorate of

Sea and Coast Guard, DGST

Japanese Side

(Preparatory Study Team)

Mr. Kiichi Tomiya

Mr. Hajime Oyama

Mr. Hisao Kumagami

Mr. Naoki Kakioka

Leader

Ship Safety Inspection

Operation Safety and Education

Cooperation Planning



ANNEX-4



2. 現地視察結果及び考察

調査員 国土交通省 神戸運輸監理部 大山 元
調査員 独立行政法人 航海訓練所 熊上尚男

1. インドネシア国海運総局の PSC に関する取組み状況

船舶の安全航行及びセキュリティの確保、並びに海洋環境保護の強化は世界的な高まりを受けて、海事関連の国際条約（SOLAS, STCW, MARPOL 等）が採択・発効され、状況に対応した改正が行われてきている。しかしながら、旗国政府による監督体制が不十分なことと、開発途上国の船舶において数多く見られる、設備・構造、安全管理システム、船員の資格・能力確認及びセキュリティ等の国際条約の基準に適合していないサブスタンダード船排除の気運の高まりから、寄港国による監督（ポート・ステート・コントロール：PSC）の重要性が国際的に認識されている。

インドネシア国も加盟する東京 MOU（アジア・太平洋地域における PSC の協力組織 現在 18 ヶ国が加盟）は、加盟国による PSC 委員会を開催し、域内の検査、改善勧告・命令及び航行停止等の PSC に係る手続きと実施の調和と促進を図ることを目指すところである。

島嶼国であるインドネシア国には、2,046 もの港（別添 1）があり、その内 141 が国際港として指定され、その中の 40 港に PSCO（外国船舶監督官）が配置されている。それらの港では、PSC に関する組織は構築されているものの、同国へ寄港する外国船舶に対する PSC 検査実施隻数、並びに欠陥事項の指摘及び Detention（航行停止処分）の比率は低く、今回の現地視察結果においても、実際にインドネシア国内の各港で行われている PSC 実施に係る信頼性は低く評価される。

PSC は、地域の連携を強めてその実施強化が求められる中、これまでの同国は、PSC 担当局及び現場責任者の意識及び改善努力が疑問視されてきており、さらには、過去には東京 MOU への分担金の滞納問題もあった。

インドネシア国の PSC の実績について、2008 年 1 月 1 日～8 月 8 日現在の東京 MOU のサイトに登録されたデータを別添 2 に示す。この期間において、同国に寄港した船舶への PSC の臨検数は 89 隻、欠陥事項の指摘は 5 隻、Detention は 1 隻であった。

他方、同時期に日本が行った PSC の臨検数は 3,279 隻、Detention は 146 隻であり、拘留率にすると 4.45% となり東京 MOU 域内のほぼ平均程度である。

なお、東京 MOU のデータによると、2007 年に同国に寄港した外国船舶の総隻数は、4,404 隻である

2. PSC の関連法規

インドネシア国における PSC 実施に係る法的根拠は海運法 218 条（別添 3）により、「外国船舶の安全性及び堪航性について検査する権限はハーバースターにある。」と定められ、その細則として欠陥事項の指摘及び Detention を命じる権限が海運総局長令により定められている。

また、欠陥を有する船舶への罰金については、政令 14 号（2000 年）、省令 36 号（2000 年）により罰金 250 米ドルを支払うことが定められている。これは軽微か重大かに関わらず欠陥がある、または堪航性に問題がある船舶に科せられることになっている。なお、本省令については改正予定であり、これまで欠陥があった船舶には一律罰金 250 米ドルを科してい

たが、再検査を実施した場合に科すということに改正される方向性が示されている。

なお、軽微な欠陥としても1つでもあれば罰金を徴収する規則について、「相手（船長）に対して申し訳ない。」「指摘に躊躇することはないか。」、等の質問を現場のPSCO (Port State Control Officer：外国船舶監督官) に対して行ったところ、法律で定められているのだから何も遠慮することはない旨の回答であった。

PSCの実施手法については、IMO (国際海事機関:所在地 英国ロンドン)の決議A787(19)「PSCの手順」及び東京MOUの指針に適合するように行っている。

3. 組織

インドネシアのPSCに関する組織体系は別添4、別添5及び別添6のとおりである。

同組織は、運輸本省内に設置される警備救難局及び主要港・地方港に設置される港湾行政事務所の2つに分けられる。

PSCOの職員数は116名(2008年8月11日現在)であり、最重要国際港のTanjung Priok港、Belawan港、Tanjung Perak港(スラバヤ)、Makassar港を中心として配置されている。(別添7)

しかし、PSCOが専属配置されているのは、一部の港(Tanjung Priok港、Dumai港、Belawan港、Makassar港)に限られ、ほとんどの港では次の船舶検査・監督業務を兼務する職員がPSCを実施している。

- ・ PSC
- ・ MI : Maritime Inspection インドネシア籍船 船舶検査担当
- ・ ISPS 国際船舶・港湾保安担当
- ・ IMDG 国際海上危険物輸送担当
- ・ MARPOL 国際海洋汚染防止協定担当

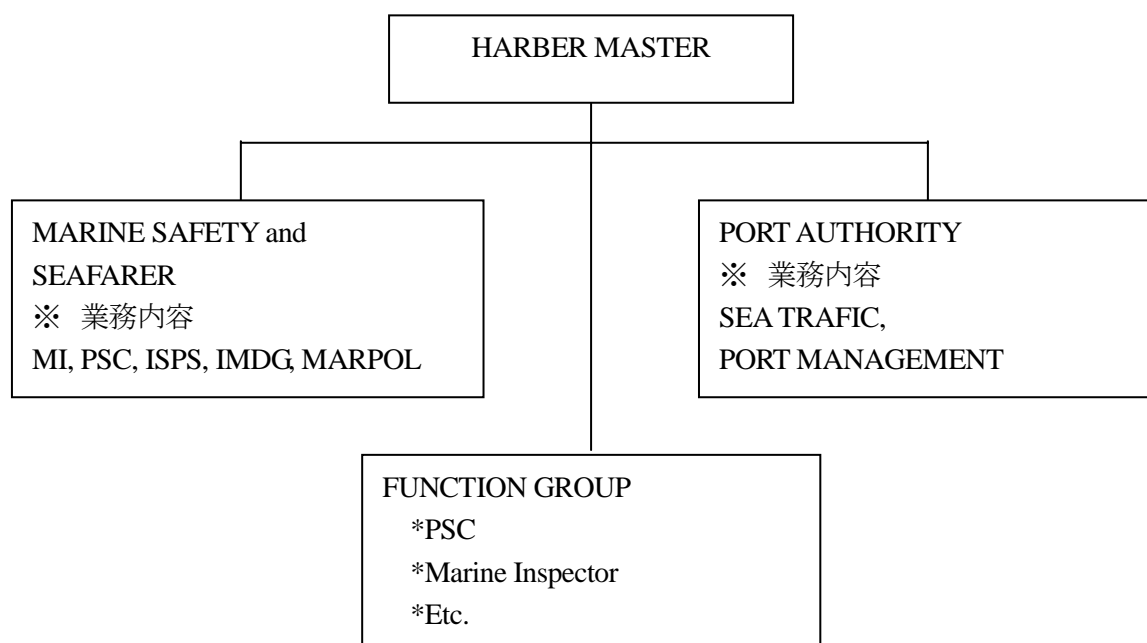
ジャカルタ近郊の主要港Tanjung Priok港では10名のPSCOが配置されているものの、その内、専属職員は4名のみであった。その他の港では、他の業務を兼任する職員によってPSCが実施されている。

また、各港におけるPSCの実施は、前述2項のとおり海運法に基づき、ハーバーマスターの権限により計画・実施・指導が行われている。

なお、同国では2009年に国際港の指定数を現在の141港から26港に変更することを検討しており、港湾施設の経費削減とPSCを含む行政業務の強化を図ることが目的である。さらに、海運総局内部の港湾関係部署について組織改編が計画されている。

本調査にて、この港湾行政に係る組織改編については、次のような概略内容の説明を受けた。この詳細は決まっていない旨の説明を受けたが、PSCOの配置についても大きく影響を受けることは否めない。

2009 年から組織改編される港湾行政組織の概略



4. PSCO の採用・登用方法

PSCO の登用に関する資格基準については、警備救難局側から次のとおりの資格または経験を有することが条件である旨の回答があり、ほぼ IMO の指針に沿ったものであった。

ア. Senior クラス

- ① 外航船舶の船長、機関長、一等航海士、二等機関士の船員の資格を有すること
- ② 造船技師
- ③ Maritime Inspector 船舶検査官

イ. Junior クラス

- ① 外航船舶における海上経験を有すること（三等航海士、三等機関士）
- ② PSC ベーシック・トレーニング受講者

職員の配置については、同国の公務員制度の任用基準を受け、必ずしも PSCO が必要とする能力を有した職員を PSC の業務に配置しているとも言えず、この人材不足は否めない様子であった。

さらに、PSCO の業務では、外国船舶への立ち入り検査をすることから、適正な検査実施及びコミュニケーションをとるためには、会話を中心とする英語能力が必須のものとなる。このため、警備救難局では PSCO の採用面接試験においては、英語会話によるコミュニケーションがとれることを最低条件としている。しかし、この部分においても人材の採用の面で苦勞しているようである。

5. 予算額の推移

PSC に関する予算は、海運総局の予算に組み込まれているが、人事管理の予算と複合しており、単独で示せるものは無かった。

PSCO の研修に関する予算は、2006 年に一時的に措置されたが、それ以前及び本年度においては運輸省の予算には計上されず、定常的なものとなっていない。海運総局では、PSC について、その必要性を重要視するものの、昨今、同研修について海外からのドナーが集中して現れていることから、財務担当部署が予算化することを控えている現状にある旨の説明が警備救難局のスタッフからあった。

海運総局の予算と PSC 官の配置数の推移

(1) Budget for DGST in the past 5 years

Units : 10 億ルピア

Fiscal year	2004	2005	2006	2007	2008
DGST	233	340	314	609	1644

(2) Trend of number of PSCO in Indonesia

Units : Persons

Fiscal year	2004	2005	2006	2007	2008
PSCO Total number	121	121	142	129	116
Number of Specialized PSCO	Non data	Non data	Non data	Non data	Tanjung Priok 4 PSCO Dumai 1 PSCO Belawan 1 PSCO Makassar 1 PSCO

6. 施設及び機材

PSCO が配置されている 40 港の内、APCIS (Asia-Pacific Computerized Information System : アジア・太平洋地域における PSC データベース情報交換システム) に接続可能なパソコン(インターネット対応)が設置されているのは全国の重要国際港の 7 港のみである。ただし、Makassar 港の同装置については現在故障中のために使用できないとの報告があった。

他の外国船舶が入港する国際港は、ファクシミリ、郵送及び一部託送の手段を使って PSC レポートをジャカルタにある警備救難局に送り、そこで、APCIS に PSC データの入力・記録が行われている。

APCIS にはインターネットに接続できる環境が必要不可欠であるが、警備救難局に設置される APCIS は良好に作動するものの、各港湾行政事務所では回線の動作不良のため、データ入力が困難な状況が頻繁に生じる報告があった。

このため、ジャカルタ近郊の最重要国際港である Tanjung Priok 港においても、PSC データを入力・記録した際に不安を感じる際には、ファクシミリで送付するが、それも送信不能な場合があることから、同港から自動車で 30 分程度の距離にある警備救難局まで、すべての PSC データをバイクにて託送している状況である。

7. PSC の実施体制

本調査期間中に警備救難局及び Tanjung Priok 港港湾行政事務所を訪問して、相手側からの資料提示と聞き取りにより、別添 8、別添 9 及び別添 10 のとおり、PSC の実施体制を確

認することができた。さらに、立ち入り検査時に使用する PSC チェックリストを別添 1 1 に示す。ただし、先方からはランダムに検査する際に使用するチェックリストである旨の説明があった。

PSC 検査は、IMO 決議 787 (19) に沿って実施することとなっており、海運総局からインドネシア語の PSC のガイドラインも示され、これには PSC の実施に係る手順・報告、訪船時の PSCO の服装 等について記載されている。

警備救難局における聞き取り調査では、同国の PSC 検査は適正に行われているとの説明を受けたものの、船体、設備等に拘留されるべき重大な欠陥が発見されても、同港に修繕できる造船所がない、または修理のための予備品がないという理由から、当該港の PSCO またはハーバースターの判断で何ら応急措置もせずに次港（国内か外国かは不明）での是正を認めているケースがある等、現場の裁量に委ねているようである。

前述 1 項に記載する同国の PSC 検査の実績及びデータの少ないことについて、警備救難局のスタッフに質疑応答を行ったところ、その理由として、次のとおり回答があった。

- ① PSC データを入力・記録する機材が悪いこと（APCIS のパソコンまたはインターネット回線の不良）
- ② ファクシミリによる報告は途絶えることが多いこと
- ③ 停電により PSC データの送受信ができなくなる場合があること
- ④ PSCO が他の業務を兼任していて多忙であること
- ⑤ そもそも PSC 検査はハーバースターの権限で行われるために状況が把握できていないこと。 等

今回の調査では幸いにも、警備救難局と JICA 現地事務所担当の調整により、Tanjung Priok 港における現地 PSCO との質疑応答・意見交換を行い、実際に外国船舶に乗船した PSC の実施手順等を見学できた。

ただし、PSC の実施手順については、当該船舶の乗船後に、同船が同港寄港前 6 ヶ月以内に他国の PSC を受けていることが判明し、結果的には乗船はしたが前回の PSC レポートを確認しただけにとどまった。

ここで、同国の PSCO の能力について評価すると、同行した PSCO はインドネシアにおいては最高レベルの能力を持つといわれる PSCO であったが、①乗船前に検査すべき船体外板の損傷の有無、②満載喫水線の位置及び表示、並びに、③係船設備、アンカーの状況 等について確認をせずに乗船して臨検に及んでいる。

また、条約証書及び書類関係は、同国の規則において外国船舶入港後に代理店によって持ち出され、税関・入国管理官のチェックを経てから、港湾行政事務所のハーバースターに届けられて、PSCO によるチェックが行われる。そして、これらの書類は、当該船舶の出港まで同事務所に保管されるシステムになっている。このため、PSCO は、現場の PSC 検査の際に、船上での書類（本紙）チェックができず、条約証書に記載されている満載喫水線の位置、安全設備等の詳細、並びに適用規則等の内容を確認しないまま検査を実施していることが分かった。

さらに、これまでに実施した PSC レポートを調査したところ、欠陥の指摘数は極めて少なく船齢 20 年以上の老朽船であっても欠陥数 0 件の場合がほとんどである。欠陥の指摘を行ったとしても 1～2 件であり、その内容は軽微な欠陥で、操作要件に係る欠陥の指摘は見

当たらなかった。

以上のことから、同国 PSCO の検査手順、内容が適切でないとともに、PSCO の能力も疑わしいと思われる。

8. PSCO の研修体制

すべてを外国からの支援に基づく研修制度に依存している。

警備救難局では、PSCO の研修レベルを、ベーシックレベルとアドバンスレベルに仕分けしており、警備救難局長からは、前者はこれまでの実績が十分であるため、後者の研修を日本からの技術協力に望む旨の発言があった。

同国内における PSCO の教育訓練制度は定常的には予算化されておらず、警備救難局においては、予算獲得及びその実施について努力しているものの、なかなか実現は難しいようである。

このため、定常的な PSCO の研修コースはないものの、2006 年には同国運輸省において、この予算が一時的に認められ、10 日間 30 名の PSC ベーシック・トレーニングを実施している。この際には、ホテルを利用して、地方の PSCO の宿泊設備とし、同ホテル内の会議室にて研修を行っている。この研修内容は、座学を中心としたものであり、OJT による PSC 実務トレーニングのようなものは行われておらず、警備救難局においても、これを補完する手段は見出せていないようである。

このため、PSCO の研修については、海外に依存することが多く、ドナー国からの提案によって実施され、研修レベルの仕分け及び研修内容については、ドナー国に依存するところが多く、先方が提示するままに受け入れている模様である。なお、前述 4 項にあげた新任の PSCO については、海外に派遣するベーシック・トレーニングを主に受講させることとしている。同国が受ける海外からの技術協力については、後述 9 項においても内容を述べる。

PSC に係る国内への情報の提供については、次のような回答があった。なお、同国海運総局における国際機関（IMO、ILO 等）との窓口は、船舶・船員局（Directorate of Shipping & Seafarers）であり、ここから警備救難局に情報提供が行われる。

- (1) 国際条約の改正及び規則の変更があった場合には、年に 1～2 回、地方の海事関係事務所の責任者（必ずしも PSC 関係者ではない）を集めた会議を開催し、その議題の一部として PSC に関する情報の周知を行っている。
現場の PSCO には、この会合に参加した担当者またはハーバーマスター経由で情報が伝わることとなっている。
- (2) 外国にて研修を受講した者による同国の PSCO へのフィードバックについては、研修終了後、同研修で知り得た知識を関係者に伝達するために、内部で報告会等を開催する。

一方、過去 10 数年間の東京 MOU の PSC ベーシック・トレーニングには、同国からかなりの人数が参加・受講したように思われるが、彼らが現場の PSC のリーダーとして後継者の育成に当たっているかという点、退職、人事異動、昇進等により多くの者が現在 PSC の業務から離れてしまっている。現状では、港湾行政事務所における PSCO の職位は高くなく、昇進において役職（課長職 等）に就いた場合には、給与制度の関係で PSC の業務から離れる人事制度になっている。

しかし、来年度以降の組織改変以降は、①人材育成のため研修受講後、数年間は PSCO の

業務を継続する、②現在、PSCO に対しては管理職（日本では首席・次席と称する管理職）が設置されていないが、今後はこれを改め、Senior クラスの PSCO には、管理職としての職位の向上と給料の昇給を行う人事制度を計画している旨の回答があった。

9. 同国への国際協力の状況

同国の PSC 活動に対する海外からの支援として、PSCO の研修がある。

現在、米国、オーストラリア、シンガポール、中国、韓国等から政府間協力を受けており、ドナー国に研修員を派遣するタイプ、講師を受け入れてセミナーを開催するタイプが実施されている。

この研修内容については、ドナー国側から提示され、次の研修が実施されているようである。また、東京 MOU が実施する PSC 研修についても、毎年 2 名程度を定常的に派遣している。

- ① PSC ベーシック・トレーニング
- ② PSC アドバンス・トレーニング
- ③ PSC のトレーナー養成・トレーニング

以上について、別添 1 2 に過去 5 年間の研修実績（国内、国外）を示す。

10. データ保管と情報公開

各港で実施した PSC 検査結果を APCIS に入力することが重要な保管作業である。その結果、東京 MOU 域内の加盟国と PSC データの共有化が図られ、インドネシア国の各港（APCIS を有する）においても対象船舶の検索、及び状況の把握等が容易に行えることになる。

同国の主要港 7 港では、直接 APCIS に PSC データを入力しており、また、APCIS が未設置の港ではファクシミリ、郵送及び託送により PSC レポートを、ジャカルタにある海運総局警備救難局に送付して、そこで各港から受けた PSC レポートのうち APCIS 未入力分について入力する手続きになっている。

各港のレポートは PSC 終了後、1～2 日の間に警備救難局に送られ、全国からの PSC レポートの回収率は 75%～90%であると警備救難局のスタッフから説明があった。しかし、実際のところ、前述 6・7 項のとおり、APCIS への入力は確実ではなく、すべての PSC レポートが送られてくることは難しい。この結果、回収率はさらに低くなり、同レポートの受け取りに要する日数はさらに掛かるものと思料する。ジャカルタ近郊の Tanjung Priok 港を例にとっても、5 日を要する場合もあるようで 1 週間分をまとめて警備救難局に送付している説明があった。

なお、ファクシミリ等により送付された PSC レポートについては、警備救難局において入力後、整理して保管することは行っていない。

また、Tanjung Priok 港における 2008 年 1 月から 6 月までの PSC 実績は、同港の PSCO によると約 220 隻である報告を受けたが、APCIS 上のデータでは 60 隻であった。さらに Belawan 港（最重要港で APCIS 設置あり）における PSC 実績については同年 5 月・6 月は合計 15 隻の実績（PSC レポートにより確認）があったにもかかわらず、APCIS 上では 0 隻であった。

これらのことから、同国においては APCIS に入力されていない PSC 実施船舶がかなり存在することが推測される。

1 1. PSC の内部評価について

警備救難局においては、国内各港から送られてきた PSC レポートについて、PSCO がどのように検査を行ったか簡素な確認は行っているものの、今後を活用されるようなものではない。

そもそも、同国の APCIS に入力された PSC レポートの数が少なく、PSC 実施結果として、欠陥事項の指摘及び Detention（航行停止）の数及び率ともに、東京 MOU 域内の他の加盟国に比較して低いことは明らかになりつつある。

このため、同国の PSC 活動の促進すること及び PSC の実施結果を有効なものとして認められるためにも、PSC 実施に関する内部評価を行い、PSC の質を高める努力は欠かせないものと思料する。

1 2. 考察

世界的に海上輸送における船舶の安全航行及び海洋環境保護を強く求める動きは、国際条約の改正及び国際情勢の変化として現れ、海運各国の適切な対応が求められている。

この動向の中で、特に開発途上国の対応が注目されるどころ、さらに、ILO 海事統合条約が 2006 年 2 月に ILO（国際労働機関）において採択され、今後、同条約の加盟国の増加により自動的に発効されることは必至のこととなった。同条約においては、海上労働を行う船員の労働条件及び環境に関する規定のほか、航海及び機関のみならず司厨業務に従事する船員にも資格受有及び教育訓練等に関する規定が盛り込まれており、これらが船舶の寄港国における PSC の検査対象となる予定である。

同国の PSC の現状は、船舶の安全航行及び海洋環境保護のみならず、新条約への対応にも間に合わない可能性は高く、業績の悪化は東京 MOU からのさらなる指摘を受けることとなり、国際会議においてもインドネシアが技術協力を求める提案を表明している。

このため、我が国から同国に専門家を派遣することにより、既存の IMO における国際条約及び近々発効される ILO における国際条約に対応した PSC に関する体制構築を促進させ、その人材養成と質の向上について、必要な助言・指導を行うことが可能である。

また、この技術協力による相乗効果として、PSC の強化はその検査対象にセキュリティの内容を含むことから、マシ海峡を含むインドネシア水域において海賊事件が頻発する現状に鑑み、同国の海上保安体制を高める効果をもたらすことが期待できる。

本調査を終えて、同国の PSC については、具体的に次のような事項について取り組むことで、今後の改善及び発展が図られるものと思料する。

(1) PSC の実施体制について

海運総局では PSC 実施に係る指針を、IMO における取り決め及び自らガイドラインを示して各港の PSCO に指示しているものの、その解釈、実施方法については、現場 PSCO が困惑している部分がある。また、臨検時に書類検査を行うものの、船員の海技資格及びセキュリティを含む書類検査がいささか脆弱な感が否めない。

このため、世界的または東京 MOU 域の標準的な考え方を浸透させ、同国の既存 PSC システムの運用について助言を行い、実効性を高めることが必要である。

- a. 立ち入り検査を行う船舶の選択手順を改善する。
- b. 外国船舶に対し税関、入国審査官、ハーバーマスター等に提出を求める条約証書等の書類と船内に保持しておくべき書類を仕分けし、PSC 実施時に船舶の適用基準、

必要設備等を把握できるようにする。

- c. 同国の PSCO の能力は他国に比べて全体的に低いことから、後述する研修制度の確立に加えて、国際条約・規則、東京 MOU 作成の PSC マニュアル等に従い、検査内容、方法、手順、欠陥事項の指摘及び Detention を行う際の判断基準等を盛り込んだ実用的な PSC 実施マニュアルの作成が急がれる。特に、初級クラスの PSCO は初任者研修等において PSC のノウハウをしっかりと習得させることが適正かつ強力に PSC を実施していく上で最も重要である。

(2) PSC に係るインフラ整備と現状の手続きの徹底

現在、APCIS に入力すべき PSC データがかなりの隻数について入力されていない可能性が非常に高いことから、東京 MOU 域内の PSC 協力体制を維持していくため、また同国の PSC データの保管、及び活用上からも改善を強く望むところである。

このシステムに必要なとなるコンピュータの導入及びインターネットの環境整備は、同国の最重要港及び外国船の入国隻数の多い港から継続的に実施すべきである。これは、まさに現場の PSCO から要望が挙がっていることである。

しかし、同国の運輸省内での予算獲得が容易ならぬことから、PSC レポートを各港から警備救難局へファクシミリで確実に送信し、警備救難課においてはそのデータを APCIS に確実に入力する制度、且つ、警備救難局から各港への PSC の実施に関する監査制度の立ち上げが必要である。

(3) PSC に関連する統計データの整理

現在 PSC のレポートについて現状では各港が様々にデータを送っている可能性がある。以下の理由により警備救難局にてデータの収集・整理が必要である。

- ① 国内の PSC 実施状況の把握
- ② 今後の体制強化指針の立案
- ③ 検査、指摘事項及び是正処理等の適合性確認
- ④ PSC に関する国内外への情報公開

また、各港から警備救難局に送付すべき情報の内容は以下のとおりである。

- ① 外国籍船における、国外から入港隻数と国内港からの入港隻数
- ② PSC 実施隻数
- ③ 欠陥事項の指摘数及び Detention の数、並びにその内容 等

(4) PSCO の英語能力について

PSCO は検査において、船舶及び船員に関する国際条約・規則及び国内法について理解することが求められるが、国際条約・規則が英語で記載されているため、この理解が十分でない可能性がある。

また、PSCO の英語会話能力については、警備救難局からは、主要港では問題なく、地方港では不足する旨の回答を得たが、実際に港湾行政事務所に訪問して、PSCO に対して英会話を行ったところ、主要港でも Senior クラスを除いては、そのレベルに不安を感じる場所がある。

これらの対策としては、個人の日頃からの努力は当然のことながら、条約等をインドネシア語で要約した参考資料の作成や PSC に関する英語会話集の作成、及び勉強会の開催等が考えられる。

(5) PSCO 研修

ア. 研修に関する要望

PSCO 研修については、次のようにランク別の要望があった。

a. 警備救難局

Senior クラスの PSCO が、PSCO となる候補者及び Junior クラスの PSCO に研修ができる Training of Trainer のための研修を希望している。

これにより、PSCO の有資格者を増やすベーシック・トレーニングの計画を意図している。

オーストラリアからの技術協力では、まず、Senior クラスの PSCO にオーストラリアにおいて研修を受講させ、帰国した後に、オーストラリアからの講師と同国の研修受講者が講師となるセミナー（ベーシック・トレーニング）を開催すること、操作要件に係るトレーニングについて商船からの便宜を受けて実施することが計画されている。なお、このセミナーの使用言語は、英語とインドネシア語である。

b. PSCO

Tanjung Priok 港の Senior クラスの PSCO にインタビューを行ったところ、新しい規則及び条約改正の内容に関する情報提供、並びに現状の PSC 実施方法の改善について指摘を受ける研修を望んでいる。

イ. 研修制度の確立

これまで、同国では、東京 MOU が実施する研修に参加しても国内でのフィードバックを十分に行っていなかったが、今後のオーストラリア、その他のドナーによるトレーニング受講者が研修終了後に、①習得した知識・技術を他の PSCO に伝承できるようセミナーを開催すること、②これらの研修資料及び研修内容を同国が独自に研修が実施できるよう研修資料として整理編集すること、③実施マニュアルを作成すること、④受講者がトレーナーとして定期的に国内における初級及び中級トレーニングを開催すること、⑤トレーナーが地方港に出向き OJT 形式の小規模な研修を実施すること、等によって全体的なレベルアップを図れるよう自国での研修制度の構築が重要である。

(6) PSCO の監査制度の確立

PSCO の能力強化のため様々な取り組みが必要であるが、その結果、各 PSCO が適切な PSC を実施しているかどうかについて、事前準備から事後処理までの手順、検査内容、方法、船側とのやりとり、そして、検査時間等について詳細に監査を行うことができる監査制度を確立することが、この技術協力の実効性を高めることができると考える。

日本におけるこの制度を警備救難局のスタッフに紹介したところ、大変興味を持ったようである。この監査員には、トレーナー以上の知識と経験が必要であり、よりハイレベルな研修が必要と考える。

(7) まとめ

以上のとおり、インドネシア国の PSC 実施体制については現在のところ様々な問題があり、今後、世界的な船舶の安全運航及び環境保護さらに船舶・港湾のセキュリティ確保、並びに同国海運の発展のためにも、今後は同国の PSC の体制を強化するにあたり、組織の強化、PSCO の能力強化、制度の改善、それに伴う教育システムの確立、インフラ整備等の検討及び関係者への啓発等、様々な取り組みが必要である。

インドネシアの港

2008年8月12日現在

港の定義	国際港	国内港	合計
1. 公共港			
運輸省直轄管理港	10	513	523
港湾公社管理港	85	56	111
2. 特別港	46	1,366	1,412
合計	141	1,935	2,046

情報源: インドネシア国運輸省海運総局提供

**MEMORANDUM OF UNDERSTANDING ON PORT STATE CONTROL IN THE ASIA-PACIFIC REGION
ASIA PACIFIC COMPUTERIZED INFORMATION SYSTEM**

INSPECTION SEARCH RESULT

Date	Place	Ship Name	Call Sign (at the moment of inspection)	Flag	IMO No.	No. of deficiencies (total / new)	Detention
□ 07.08.2008	Tanjung Perak, Indonesia	ATORA	9HER8	Malta	9018660	0 / 0	no
□ 06.08.2008	Tanjung Pinang, Indonesia	YUE DIAN 3	BTPT	China	8900488	0 / 0	no
□ 01.08.2008	Belawan, Indonesia	MT GLOBAL MARS	H9AS	Panama	9236925	0 / 0	no
□ 24.07.2008	Tanjung Priok, Indonesia	KOTA HARTA	9VNI	Singapore	9135092	0 / 0	no
□ 24.07.2008	Tanjung Priok, Indonesia	O PRINCESS	3EJP8	Panama	9009073	1 / 1	no
□ 23.07.2008	Tanjung Priok, Indonesia	FENG QIAN	BRSW	China	9052850	0 / 0	no
□ 21.07.2008	Tanjung Priok, Indonesia	STATE WARATAH	A8PO5	Liberia	9403449	0 / 0	no
□ 18.07.2008	Tanjung Priok, Indonesia	PRETTY RIVER	3FDL3	Panama	9043005	0 / 0	no
□ 15.07.2008	Tanjung Priok, Indonesia	SHINING PESCADORES	3FIV9	Panama	9203382	0 / 0	no
□ 30.06.2008	Panjang, Indonesia	SONNE	DFCG	Germany	6909777	0 / 0	no
□ 28.06.2008	Tanjung Priok, Indonesia	STX ASIA	3EBS5	Panama	9009176	0 / 0	no
□ 24.06.2008	Tanjung Priok, Indonesia	OCEAN BRAVE	XYMT	Myanmar	9015797	0 / 0	no
□ 24.04.2008	Tanjung Priok, Indonesia	SAGAR	3FHA9	Panama	9202895	0 / 0	no
□ 15.04.2008	Tanjung Priok, Indonesia	BEAGLE I	3EDG8	Panama	9333709	0 / 0	no
□ 15.04.2008	Tanjung Priok, Indonesia	SYMS EXPRESS 1	VRAA3	Hong Kong, China	9108221	0 / 0	no
□ 14.04.2008	Tanjung Priok, Indonesia	THAI DAWN	V7EO6	Marshall Islands	8310956	0 / 0	no
□ 13.04.2008	Tanjung Priok, Indonesia	ARTEMIS	V7JD8	Marshall Islands	8505824	0 / 0	no
□ 12.04.2008	Tanjung Priok, Indonesia	SONG YUN HE	3FRF8	Panama	9160700	0 / 0	no
□ 12.04.2008	Tanjung Priok, Indonesia	CAPE SPENCER	VRZA9	Hong Kong, China	9159725	0 / 0	no
□ 12.04.2008	Tanjung Priok, Indonesia	HOUSTON	J8B3741	Saint Vincent and the Grenadines	7729203	0 / 0	no
□ 11.04.2008	Tanjung Priok, Indonesia	AULAC DRAGON	3WGC	Viet Nam	9311309	0 / 0	no
□ 10.04.2008	Tanjung Priok, Indonesia	CEC VISION	ZNGT3	Isle of Man (UK)	9065285	0 / 0	no
□ 25.03.2008	Tanjung Priok, Indonesia	BAHAMIAN EXPRESS	V7CI7	Marshall Islands	9216729	0 / 0	no
□ 25.03.2008	Tanjung Priok, Indonesia	WAN HAI 215	S6SG	Singapore	9059133	0 / 0	no
□ 24.03.2008	Tanjung Priok, Indonesia	DIBENA HAPPY	HSRD	Thailand	7381348	0 / 0	no

Hosted by
Information and Coordinating Center on Port and Flag State Control
Moscow, Russia

**MEMORANDUM OF UNDERSTANDING ON PORT STATE CONTROL IN THE ASIA-PACIFIC REGION
ASIA PACIFIC COMPUTERIZED INFORMATION SYSTEM**

INSPECTION SEARCH RESULT

Date	Place	Ship Name (at the moment of inspection)	Call Sign	Flag	IMO No.	No. of deficiencies (total / new)	Detention
<input type="checkbox"/> 15.03.2008	Tanjung Priok, Indonesia	PU CHENG	BOMF	China	7610115	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 13.03.2008	Tanjung Priok, Indonesia	MV HA DONG	XVCF	Viet Nam	8605193	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 10.03.2008	Tanjung Perak, Indonesia	DA QIANG	3FWI8	Panama	9153903	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 10.03.2008	Tanjung Perak, Indonesia	KOTA HADIAH	S6NP	Singapore	9151307	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 05.03.2008	Tanjung Perak, Indonesia	EVER ALLY	3FTK6	Panama	9130511	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 29.02.2008	Tanjung Perak, Indonesia	PANTELIS	3EKK	Panama	9337810	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 29.02.2008	Tanjung Perak, Indonesia	MERKUR BRIDGE	ELGK4	Liberia	8912766	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 23.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	WORLD STAR	HOFB	Panama	9260988	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 23.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	HAEMAJI	DSNZ5	Korea, Republic of	8514813	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 22.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	DIAMOMD EXPRESS	9VBU9	Singapore	9403803	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 20.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	GENIUS PESCADORES	3FSN7	Panama	9175822	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 20.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	YICK HUA	3ESI8	Panama	8312136	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 20.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	JIN CANG	BPYI	China	9118240	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 17.02.2008	Dumai, Indonesia	HS ELEKTRA	A8MI6	Liberia	9178329	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 15.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	JH YOUNG	DSFR8	Korea, Republic of	8914934	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 14.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	MEDI BALTIMORE	3EAW8	Panama	9287168	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 13.02.2008	Tanjung Perak, Indonesia	KOTA RATNA	S6TI	Singapore	9167447	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 12.02.2008	Tanjung Perak, Indonesia	SOECHI CHEMICAL IX	S6CD9	Singapore	8709597	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 12.02.2008	Tanjung Perak, Indonesia	ATORA	9HER8	Malta	9018660	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 11.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	LAL BAHADUR SHASTRI	VVGJ	India	9045534	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 11.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	BEST PESCADORES	H3GZ	Panama	9220419	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 11.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	THAILINE 5	9WFF5	Malaysia	9084293	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 06.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	GAGASAN PERAK	9MFK9	Malaysia	9390525	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 06.02.2008	Banjarmasin, Indonesia	MARITIME PUTIAN	H3PJ	Panama	9227704	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> 05.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	THOR NAUTICA	HSDE2	Thailand	8701088	0 / 0	no

Hosted by
Information and Coordinating Center on Port and Flag State Control
Moscow, Russia

**MEMORANDUM OF UNDERSTANDING ON PORT STATE CONTROL IN THE ASIA-PACIFIC REGION
ASIA PACIFIC COMPUTERIZED INFORMATION SYSTEM**

INSPECTION SEARCH RESULT

Date	Place	Ship Name	Call Sign (at the moment of inspection)	Flag	IMO No.	No. of deficiencies (total / new)	Detention
□ 05.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	NEW IRENE	DSOB3	Korea, Republic of	9131838	0 / 0	no
□ 05.02.2008	Tanjung Perak, Indonesia	TIEN YEN	XVFI	Viet Nam	8909434	0 / 0	no
□ 05.02.2008	Tanjung Perak, Indonesia	WORLD DYNASTY	DSPN2	Korea, Republic of	9041837	0 / 0	no
□ 02.02.2008	Tanjung Priok, Indonesia	OCEAN DIAMOND	3ELW3	Panama	9405461	0 / 0	no
□ 31.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	SILVER OCEAN	C6RJ3	Bahamas	9179476	0 / 0	no
□ 30.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	FU SHUN	BHFZ	China	8801735	0 / 0	no
□ 30.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	XIANG TAI	H3WI	Panama	8520393	0 / 0	no
□ 28.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	MT. YASMIN C	3EPD9	Panama	7902922	4 / 4	yes
□ 26.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	PERTH BRIDGE	H3OI	Panama	9236341	0 / 0	no
□ 26.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	SOFIA 1	3EN14	Panama	8204573	0 / 0	no
□ 25.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	ASIAN ROSE	3EAD5	Panama	9135573	0 / 0	no
□ 25.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	ZOE GLORY	3EOQ5	Panama	9031052	0 / 0	no
□ 22.01.2008	Tanjung Perak, Indonesia	MARINER	HO9324	Panama	5179208	0 / 0	no
□ 22.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	SEALADY	9HJM7	Malta	9104421	0 / 0	no
□ 19.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	VENUZS	J8VP9	Saint Vincent and the Grenadines	8217219	0 / 0	no
□ 18.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	TAI HARMONY	H3WV	Panama	9216676	0 / 0	no
□ 18.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	NUUK MAERSK	OXHP2	Denmark	9323819	0 / 0	no
□ 18.01.2008	Tanjung Perak, Indonesia	NAUTICA SEGAMAT	9M618	Malaysia	9005182	2 / 2	no
□ 17.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	ACX LILY	ELN06	Liberia	8914271	0 / 0	no
□ 16.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	NEW LIGHT	HODS	Panama	9267170	0 / 0	no
□ 15.01.2008	Tanjung Perak, Indonesia	TELEMACHUS	S6AM8	Singapore	8111271	3 / 3	no
□ 14.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	MV. THOR TRANSPORTER	HSB2995	Thailand	8606599	0 / 0	no
□ 14.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	GLOBAL CARRIER	V2SP	Antigua and Barbuda	8111764	2 / 2	no
□ 14.01.2008	Tanjung Priok, Indonesia	ZEUS	DSOD2	Korea, Republic of	8419879	0 / 0	no
□ 12.01.2008	Tanjung Perak, Indonesia	KMTC JAKARTA	DSOA8	Korea, Republic of	9217424	0 / 0	no

Hosted by
Information and Coordinating Center on Port and Flag State Control
Moscow, Russia

**MEMORANDUM OF UNDERSTANDING ON PORT STATE CONTROL IN THE ASIA-PACIFIC REGION
ASIA PACIFIC COMPUTERIZED INFORMATION SYSTEM**

INSPECTION SEARCH RESULT

Date	Place	Ship Name (at the moment of inspection)	Call Sign	Flag	IMO No.	No. of deficiencies (total / new)	Detention
<input type="checkbox"/> <u>12.01.2008</u>	Tanjung Perak, Indonesia	ASEAN RESTORER	9VFU	Singapore	9063275	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>09.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	PRINCESS MARY	V2OG2	Antigua and Barbuda	9225093	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>09.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	STX ASIA	3EBS5	Panama	9009176	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>08.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	EVER MIGHTY	3FBS6	Panama	9128489	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>08.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	SINOKOR SEOUL	DSFG8	Korea, Republic of	7822562	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>07.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	AZZURA	VRAC6	Hong Kong, China	9294197	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>07.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	PRETTY RIVER	3FDL3	Panama	9043005	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>07.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	KULNATEE	HSB3064	Thailand	7632541	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>07.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	THOR SEA	HSAZ2	Thailand	8311390	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>06.01.2008</u>	Balikpapan, Indonesia	DELZOUKRE	3ELY6	Panama	9330111	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>04.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	OCEAN BRAVE	XYMT	Myanmar	9015797	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>03.01.2008</u>	Balikpapan, Indonesia	JELITA	3EDT7	Panama	8521268	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>02.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	FU MAY	ELYN4	Liberia	9244831	0 / 0	no
<input type="checkbox"/> <u>02.01.2008</u>	Tanjung Priok, Indonesia	HUNG YEN	XVZJ	Viet Nam	7351862	0 / 0	no

Hosted by
Information and Coordinating Center on Port and Flag State Control
Moscow, Russia



UNDANG-UNDANG REPUBLIK INDONESIA

NOMOR 17 TAHUN 2008

**TENTANG
PELAYARAN**

**REPUBLIK INDONESIA
2008**



PRESIDEN
REPUBLIK INDONESIA

Pasal 212

- (1) Dalam melaksanakan keamanan dan ketertiban di pelabuhan sesuai dengan ketentuan konvensi internasional, Syahbandar bertindak selaku komite keamanan pelabuhan (*Port Security Committee*).
- (2) Dalam melaksanakan fungsi sebagaimana dimaksud pada ayat (1) Syahbandar dapat meminta bantuan kepada *Kepolisian Republik Indonesia dan/atau Tentara Nasional Indonesia*.
- (3) Bantuan keamanan dan ketertiban di pelabuhan sebagaimana dimaksud pada ayat (1) di bawah koordinasi dalam kewenangan Syahbandar.
- (4) Ketentuan lebih lanjut mengenai tata cara pelaksanaan keamanan dan ketertiban serta permintaan bantuan di pelabuhan sebagaimana dimaksud pada ayat (1) dan ayat (2) diatur dengan Peraturan Pemerintah.

Bagian Ketiga

Pemeriksaan dan Penyimpanan Surat,
Dokumen, dan Warta Kapal

Pasal 213

- (1) Pemilik, Operator Kapal, atau Nakhoda wajib memberitahukan kedatangan kapalnya di pelabuhan kepada Syahbandar.
- (2) Setiap kapal yang memasuki pelabuhan wajib menyerahkan surat, dokumen, dan warta kapal kepada Syahbandar seketika pada saat kapal tiba di pelabuhan untuk dilakukan pemeriksaan.
- (3) Setelah dilakukan pemeriksaan sebagaimana dimaksud pada ayat (2) surat, dokumen, dan warta kapal disimpan oleh Syahbandar untuk diserahkan kembali bersamaan dengan diterbitkannya Surat Persetujuan Berlayar.
- (4) Ketentuan lebih lanjut mengenai tata cara pemberitahuan kedatangan kapal, pemeriksaan, penyerahan, serta penyimpanan surat, dokumen, dan warta kapal sebagaimana dimaksud pada ayat (1), ayat (2), dan ayat (3) diatur dengan Peraturan Menteri.

Pasal 214 ...



PRESIDEN
REPUBLIK INDONESIA

Pasal 214

Nakhoda wajib mengisi, menandatangani, dan menyampaikan warta kapal kepada Syahbandar berdasarkan format yang telah ditentukan oleh Menteri.

Pasal 215

Setiap kapal yang memasuki pelabuhan, selama berada di pelabuhan, dan pada saat meninggalkan pelabuhan wajib mematuhi peraturan dan melaksanakan petunjuk serta perintah Syahbandar untuk kelancaran lalu lintas kapal serta kegiatan di pelabuhan.

Bagian Keempat

Persetujuan Kegiatan Kapal di Pelabuhan

Pasal 216

- (1) Kapal yang melakukan kegiatan perbaikan, percobaan berlayar, kegiatan alih muat di kolam pelabuhan, menunda, dan bongkar muat barang berbahaya wajib mendapat persetujuan dari Syahbandar.
- (2) Kegiatan *salvage*, pekerjaan bawah air, pengisian bahan bakar, pengerukan, reklamasi, dan pembangunan pelabuhan wajib dilaporkan kepada Syahbandar.
- (3) Ketentuan lebih lanjut mengenai tata cara memperoleh persetujuan dan pelaporan sebagaimana dimaksud pada ayat (1) dan ayat (2) diatur dengan Peraturan Menteri.

Bagian Kelima
Pemeriksaan Kapal

Pasal 217

Syahbandar berwenang melakukan pemeriksaan kelaiklautan dan keamanan kapal di pelabuhan.

Pasal 218

- (1) Dalam keadaan tertentu, Syahbandar berwenang melakukan pemeriksaan kelaiklautan kapal dan keamanan kapal berbendera Indonesia di pelabuhan.

(2) Syahbandar ...

- (2) Syahbandar berwenang melakukan pemeriksaan kelaiklautan dan keamanan kapal asing di pelabuhan sesuai dengan ketentuan peraturan perundang-undangan.
- (3) Ketentuan lebih lanjut mengenai tata cara pemeriksaan kapal sebagaimana dimaksud pada ayat (1) dan ayat (2) diatur dengan Peraturan Menteri.

Bagian Keenam
Surat Persetujuan Berlayar

Pasal 219

- (1) Setiap kapal yang berlayar wajib memiliki Surat Persetujuan Berlayar yang dikeluarkan oleh Syahbandar.
- (2) Surat Persetujuan Berlayar tidak berlaku apabila kapal dalam waktu 24 (dua puluh empat) jam, setelah persetujuan berlayar diberikan, kapal tidak bertolak dari pelabuhan.
- (3) Surat Persetujuan Berlayar sebagaimana dimaksud pada ayat (1) tidak diberikan pada kapal atau dicabut apabila ketentuan sebagaimana dimaksud dalam Pasal 44, Pasal 117 ayat (2), Pasal 125 ayat (2), Pasal 130 ayat (1), Pasal 134 ayat (1), Pasal 135, Pasal 149 ayat (2), Pasal 169 ayat (1), Pasal 213 ayat (2), atau Pasal 215 dilanggar.
- (4) Syahbandar dapat menunda keberangkatan kapal untuk berlayar karena tidak memenuhi persyaratan kelaiklautan kapal atau pertimbangan cuaca.
- (5) Ketentuan mengenai tata cara penerbitan Surat Persetujuan Berlayar sebagaimana dimaksud pada ayat (1) diatur dengan Peraturan Menteri.

Bagian Ketujuh
Pemeriksaan Pendahuluan Kecelakaan Kapal

Pasal 220

- (1) Syahbandar melakukan pemeriksaan terhadap setiap kecelakaan kapal untuk mencari keterangan dan/atau bukti awal atas terjadinya kecelakaan kapal.

(2) Pemeriksaan . . .

- (2) Pemeriksaan kecelakaan kapal sebagaimana dimaksud pada ayat (1) merupakan pemeriksaan pendahuluan.

Pasal 221

- (1) Pemeriksaan pendahuluan kecelakaan kapal berbendera Indonesia di wilayah perairan Indonesia dilakukan oleh Syahbandar atau pejabat pemerintah yang ditunjuk.
- (2) Pemeriksaan pendahuluan kecelakaan kapal berbendera Indonesia di luar perairan Indonesia dilaksanakan oleh Syahbandar atau pejabat pemerintah yang ditunjuk setelah menerima laporan kecelakaan kapal dari Perwakilan Pemerintah Republik Indonesia dan/atau dari pejabat pemerintah negara setempat yang berwenang.
- (3) Hasil pemeriksaan pendahuluan kecelakaan kapal sebagaimana dimaksud dalam Pasal 220 dapat diteruskan kepada Mahkamah Pelayaran untuk dilakukan pemeriksaan lanjutan.

Bagian Kedelapan
Penahanan Kapal

Pasal 222

- (1) Syahbandar hanya dapat menahan kapal di pelabuhan atas perintah tertulis pengadilan.
- (2) Penahanan kapal berdasarkan perintah tertulis pengadilan sebagaimana dimaksud pada ayat (1) dapat dilakukan berdasarkan alasan:
 - a. kapal yang bersangkutan terkait dengan perkara pidana; atau
 - b. kapal yang bersangkutan terkait dengan perkara perdata.

Pasal 223

- (1) Perintah penahanan kapal oleh pengadilan dalam perkara perdata berupa klaim-pelayaran dilakukan tanpa melalui proses gugatan.
- (2) Ketentuan lebih lanjut mengenai tata cara penahanan kapal di pelabuhan sebagaimana dimaksud pada ayat (1) diatur dengan Peraturan Menteri.

Bagian Kesembilan . . .

<仮訳>

インドネシア国 新海運法 2008年5月発効

PSC 検査に関する抜粋
Shipping Law No.218

第218条

- (1) 特定の状況において、各港におけるインドネシア国籍の安全性と耐航性の検査を行う権限はハーバーマスターにある。

※ 特定の状況とは？

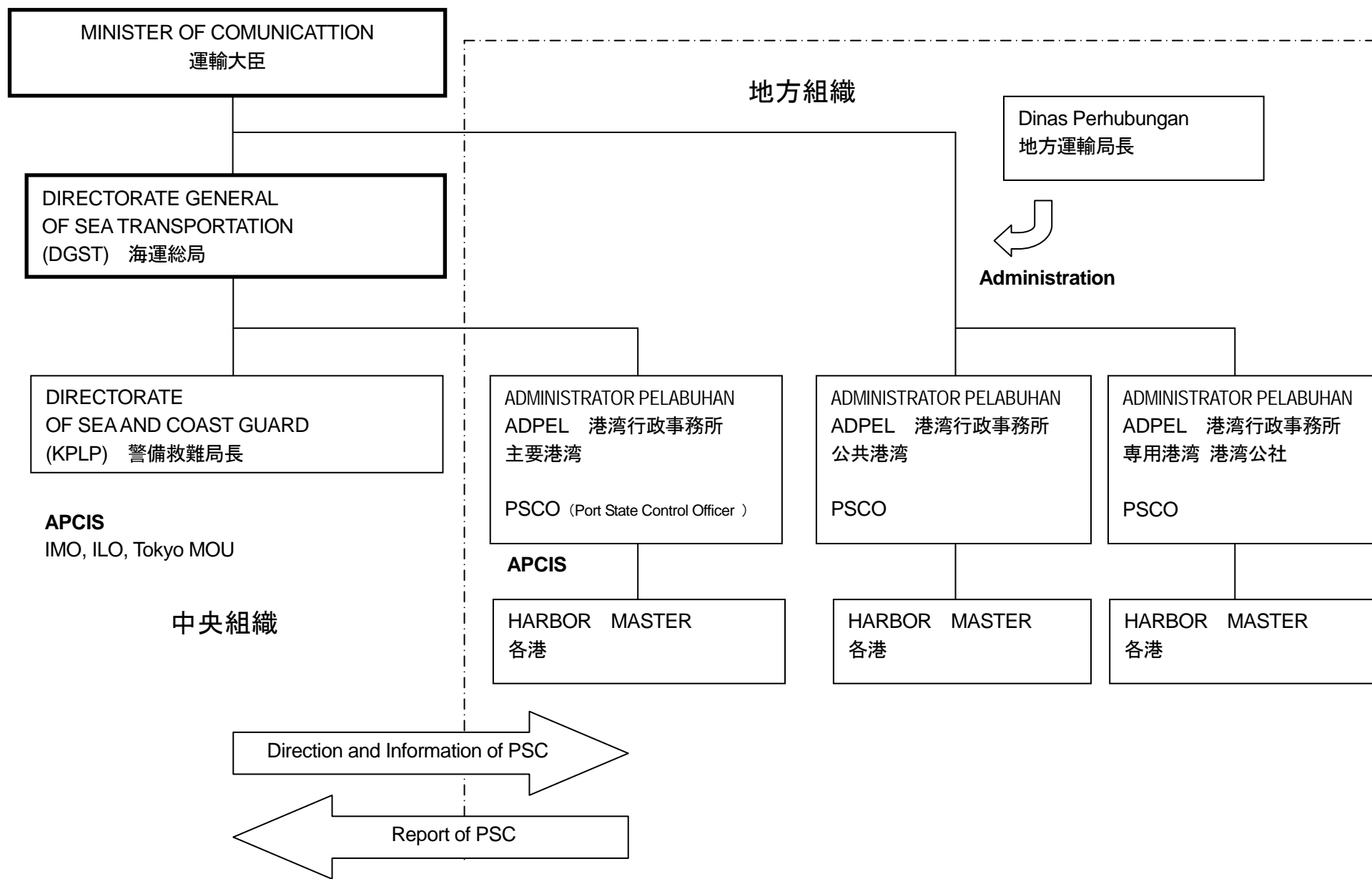
→船舶の安全が損なわれる可能性があり、耐航性に問題があるとする時

- (2) 港における外国籍の船舶の安全性と耐航性の検査を行う権限はハーバーマスターにある。それは法令に基づく。

- (3) (1)、(2)項に定める細則については省令に定める。

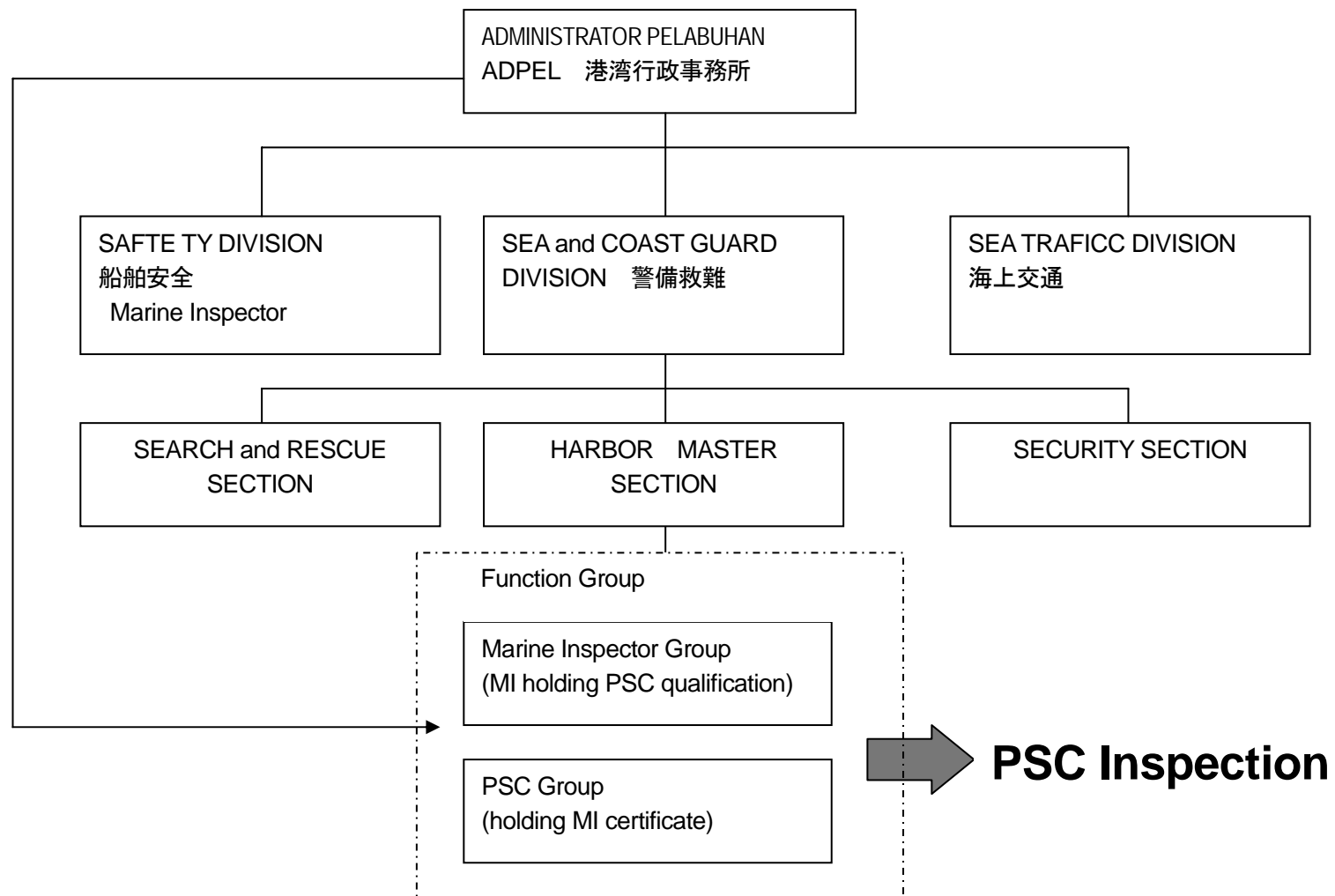
この法令に続く、PSC に関する政令及び省令については、今後1年以内に制定する予定である。

インドネシア国運輸省 PSC 組織図(中央・地方組織)

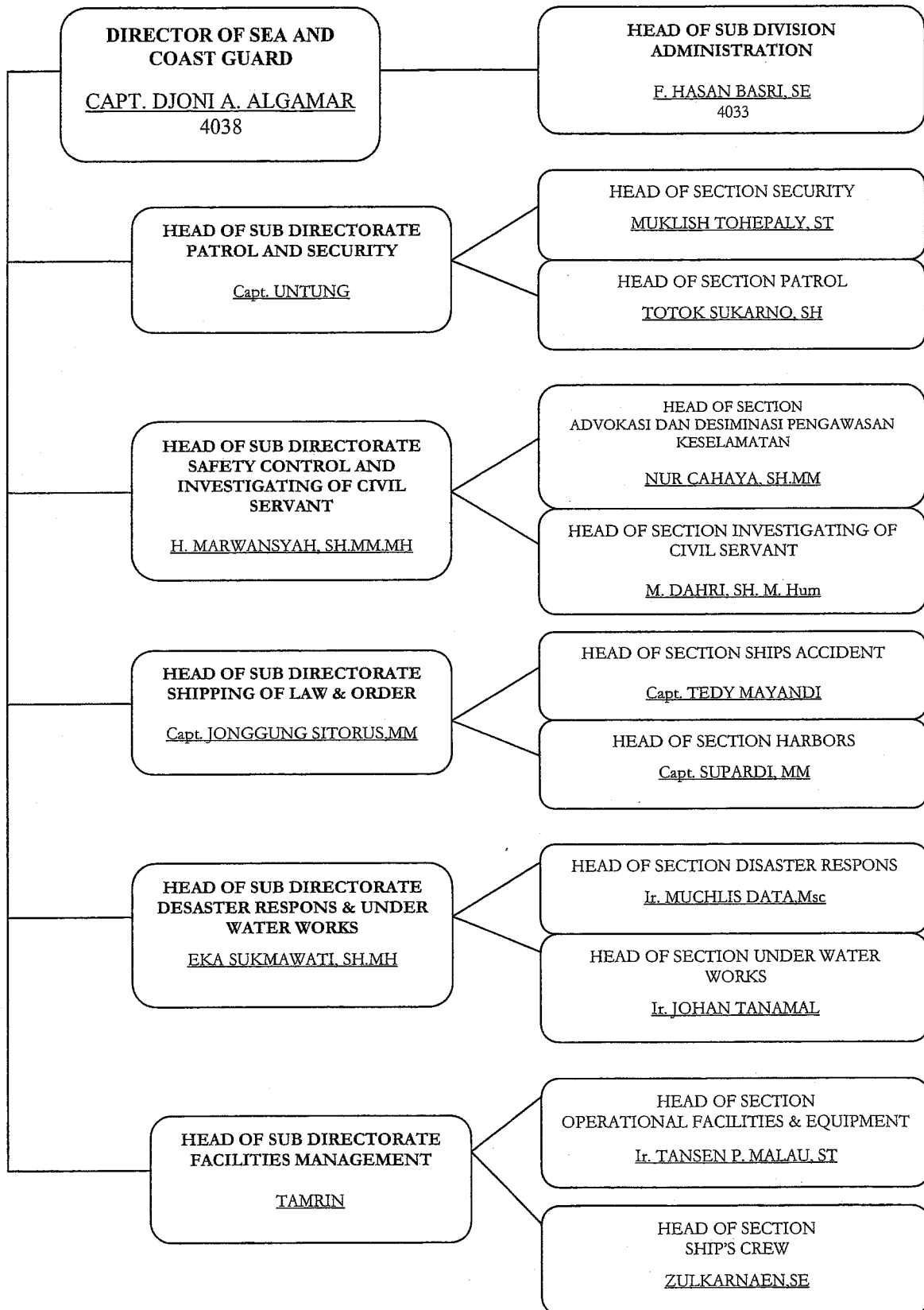


PSC Organization Chart in Ministry of Communication, Indonesia (2)
インドネシア国運輸省 PSC 組織図(港湾)

別添5



海運総局警備救難局組織図(名簿付) 2008年5月現在



インドネシア国におけるPSCOの配置一覧

2008年8月11日現在

NO	DISTRIC		NAME	CODE AREA	REMARKS
1	2		3	4	5
1	Adpel Malahayati	Class 3	1 FAUZI	9052	
2	Adpel Belawan	Class 1, Main Port	2 DIDI A.M.Eng	9052	
		APCIS	3 JOHAN EFFENDI	9052	
			4 ZAINI LIFAN	9052	
			5 MUAS EFFENDI	9052	
			6 TEUKU FAISAL, S.Sit	9052	
3	Adpel Tg.Priok	Class 1, Main Port	7 DANIAL KALBI	9053	
		APCIS	8 HERI SETIYAWAN	9053	
			9 RAMAN	9053	
			10 M.ADY ISMAIL	9053	
			11 Capt. REYNALDO SJUKRI,MM	9053	
			12 NGADINO	9053	
			13 ARSEN SIMBOLON	9053	
			14 RAJUMAN SIBARANI	9053	
			15 SADMIN	9053	
			16 MOH.ALI,SAP	9053	
4	Adpel Tg.Perak	Class 1, Main Port	17 Capt. Drs.ROCKY A.SUHERMAN	9054	
		APCIS	18 DJATMIKO WIDODO	9054	
			19 SUBAGYO	9054	
			20 TISNO SUCAHYO	9054	
			21 R.D.AGUSTINUS RAY	9054	
			22 SENTOT BOEDI SANTOSO	9054	
5	Adpel gresik	Class 3	23 SUDAR BASUKI	9054	
			24 SURATNO, SH	9054	
			25 SUKARTOMO	9054	
			26 ANSORI, SH	9054	
6	Adpel Teluk Bayur	Class 1	27 Capt. EZAU D.KAKISINA	9662	
7	Kanpel Batam	Class 1	28 HASAN LEURIMA	9663	
			29 YUNAN SYAFII	9663	
			30 SYAHRINALDI	9663	
			31 EZRAL FAHLEPI	9663	
8	Adpel Dumai	Class 1	32 Capt PURGANA	9664	
		APCIS	33 ERIADI	9664	
			34 MARZUKI SIREGAR	9664	
			35 M.IRWAN M.Eng	9664	
9	Adpel Pekanbaru	Class 3	36 DARMAN	9665	
			37 ZAMZAMI	9665	
10	Adpel Selat Panjang	Class 4	38 YUSUF SOFYAN	9665	
11	Adpel Tanjung Pinang	Class 2	39 YEFRI MEDISON	9666	
			40 Capt. BINTANG NOVI	9666	
12	Adpel Jambi	Class 3	41 MULYONO	9672	
			42 ROETEDJO	9672	
			43 ARGO WIBAWANTO	9672	
13	Adpel Pulau Baai	Class 3	44 NGODAK SEMBIRING	9673	
14	Adpel Palembang	Class 1	45 WARSENSO	9674	
			46 SUTRISNO	9674	
			47 ZULHIDAYAT, ST	9674	
15	Adpel Panjang	Class 1	48 HERMANTO	9678	
		APCIS	49 SUHAIMI	9678	
			50 SWASTANTO AJI	9678	
			51 EDI SUTRISNO	9678	
16	Adpel Banten	Class 1	52 Ir.SARWO S, MM	9678	
17	Adpel Tg. Emas	Class 1	53 Capt. KAROLUS SANGADJI	9680	
		APCIS	54 HARI SOENYOTO	9680	
			55 PRAMONO	9680	
			56 SUMADI	9680	
			57 WILIYANTO	9680	

18	Adpel Cilacap	Class 3	58	I.Y.INDRIANTO	9681
			59	ROBERTUS MARTUBONG	9681
			60	HARI WIDIYANTO F	9681
			61	SUHARDIMAN	9681
19	Kanpel Tg.Laut	Class 4	62	GURITNO	
20	Adpel Benoa	Class 1	63	RACHMADIDJAJA	9687
21	Adpel Lembar	Class 3	64	DEDI YUWONO	9690
			65	TAHER	9690
22	Adpel Benete	Class 4	66	MUHAMMAD JUNAIDIN, SH	9690
23	Adpel Pontianak	Class 1	67	SLAMET ATMODOJO, SH	9700
			68	THANTAWI DJAUHARI,S SH	9700
			69	TONY SIAGIAN	9700
			70	SUBUH FAKKUROCHMAN	9700
24	Adpel Sampit	Class 4	71	AGUS SUBAGYO, SH	9703
25	Adpel Banjarmasin	Class 1	72	CHRISTIAN KAKASIH	9706
			73	Capt. ANASRO AMIN	9706
26	Adpel Balikpapan	Class 1	74	Capt. GAJAH ROOSENO	9708
			75	Drs. HAMDANIL	9708
			76	WAKIDI	9708
26	Adpel Samarinda	Class 2	77	MAHJUDDIN, SH	9709
			78	TATANG KISNANHTA	9709
			79	BAKRI UPE, ST	9709
			80	HELMIN	9709
27	Kanpel Sangata	Class 4	81	ISWANDI, Msi	9709
28	Kanpel Lhoktuan	Class 4	83	SURYA NEGARA NASUTION	9709
29	Adpel Nunukan	Class 5	84	BASLAN D, SH	9710
30	Adpel Bitung	Class 1	85	Capt. P.K.SINGALE	9712
31	Adpel Manado	Class 3	86	TONY E RAMPENGAN	9713
32	Adpel Makassar	Class 1, Main Port APCIS	87	RUSTAM MARANGSANG	9716
			88	MARTHIN ROBERT PARAENG	9716
			89	AFRIANUS TAPANGAN	9716
			90	AKIB	9716
			91	Capt. BRUTJE	9716
			92	ELVIS PARANSI	9716
			93	YANSEN RAMPU	9716
33	Adpel Pare-Pare	Class 3	94	TAUFIQ BULU	9717
			95	Ir. NURWAHIDAH	9717
			96	ARI MASIKI	9717
			97	YUSUF IMRAN, BSc	9717
34	Kanpel Tual	Class 4	98	JUSUF HELJANAN, ST	9717
35	Adpel Ambon	Class 1	99	MOZES IMANUEL KARAENG	9720
36	Adpel Ternate	Class 3	100	AFFAN TABONA	9721
			101	JESAJA SARITA	9721
			102	ALI IBRAHIM	9721
			103	YOHANES GANI	9721
37	Adpel Jayapura	Class 2	104	IRIANTO DAHLAN	9722
38	Adpel Sorong	Class 1	105	NUR SUKMANADJATI,MM	9723
			106	DEMIANUS KOWA	9723
			107	MARTHIN SAHERTIAN	9723
			108	JHON M.MANIAGASI	9723
39	Adpel Merauke	Class 3	109	JULIANUS THE	9725
			110	J.DONGGIRI	9725
41	Adpel Biak	Class 3	111	BENYAMIN KWANO	9725
42	Head Office		112	Capt. JONGGUNG SITORUS, MM	9053
			113	Capt. SUPARDI,M.Mar	9053
			114	RAHMAT DESRIAL	9053
			115	MOHAMAD NASIR, S.Sit	9053
			116	HOT MAROJAHAN	9053

PSC の実施体制

本調査中には、Tanjung Priok 港における PSC の実施体制を見学することができた。

同港の概要は、港湾施設の土地面積は 604ha、岸壁の面積は 400ha である。港湾施設は、カーゴ区域、コンテナ区域及びタンカー区域等に分けられており、1 日に入港する外国船舶数は約 10 隻、年間を通じては、おおよそ 1,000 隻の外国船舶が入港するそうである。

同港には、10 名の PSCO が配置されており、専属で PSC 検査を行う職員は 4 名、他の業務と兼任の職員は 6 名である。PSC 検査の際に書類にサインできる権限を持つ職員は 4 名である。

同港訪問の際に面会を行い、質疑応答・意見交換を行ったスタッフは次のとおりである。

- 警備救難課長 ナプリ氏
- ハーバーマスター バンバツ氏
- PSC Chief Officer ハリオノ氏
- PSC Chief Officer ハリー氏
- その他 PSCO 4名

(1) PSC 検査の手順

インドネシアにおける PSC は、IMO の決議 No.787 及び東京 MOU のマニュアルに基づいて実施している説明を受けた。

実際の PSC 検査の実施では、PSCO を 2 つのグループに分けて、1 グループ 4 名が外国船舶への立ち入り検査(実施グループ)を行い、他のグループが APCIS により PSC 検査対象船舶の選定を行い、携帯電話により実施グループに連絡を行っている。このグループは午前と午後で入れ替えが行われる。

対象船舶の選定の優先度は、①船齢、②トン数、③船種、を重要視しており、1 日の検査数は 3～5 隻であり、検査には約 1 時間を要している。

	午前 08:00 - 12:00	午後 13:00 - 16:00
Aグループ 4名	PSC 検査	港湾行政事務所 APCIS にて PSC 検査の対象船舶の選定、実施グループへの連絡
Bグループ 4名	港湾行政事務所 APCIS にて PSC 検査の対象船舶の選定、実施グループへの連絡	PSC 検査

PSC 検査手順の概略について質問したところ、次のような説明を受けた。この PSC の検査手順及び報告については、別添 9 及び別添 10 のとおりであり、同港の港湾行政事務所 PSC 室内に掲示している。

- a. ハーバーマスターからの PSC 検査に関する指示

b. 乗船前の検査

- 船体の外観検査
- ギャングウェイの検査 等

c. 乗船後の検査

- PSC に関する Capt.とのミーティング
- ISPS コードに関して、SSO が選定されていることを確認
- 現場検査

乗船した4名の PSCO が2グループに分かれて、書類と船内設備・装置の検査を行い、必要に応じて欠陥事項の指摘を行う。操練（防火部署、防水部署、総員退船部署）については、航海日誌にて確認を行っている。

① 2 PSCO → 書類検査 Capt.室

② 2 PSCO → 船橋、無線設備、救命・消防等安全設備、海洋汚染防止装置、機関室における検査

- 検査レポート作成〔Form A、Form B（欠陥有りの場合）〕

d. APCIS への PSC 検査結果の入力・記録

(2) Tanjung Priok 港に見られる外国船舶の欠陥事例（PSC 検査の結果）

ハーバーマスターから同港に入港する外国船舶には、主として次のような欠陥事項が発見されるケースが多いと説明を受けた。

a. 機関室内部が油污れ

b. 以下の設備・機器に関する欠陥事項

- ライフラフト
- ライフボートのエンジン作動状態
- ライフボートのライフライン
- ライフボートの降下設備
- 航海灯含む照明

(3) Tanjung Priok 港における PSC 検査実績

同港における 2008 年 1 月から 6 月までの PSC 実績は、同港の PSCO によると 226 隻である報告を受けた。

この件について「APCIS のデータでは 60 隻であるが、なぜ数値が異なるのか。」と質問したところ、「6 ヶ月以内に他の港で PSC を受けた船舶は入力していない。」旨の回答であった。

(4) Tanjung Priok 港における PSC 検査の印象

同港の PSC 実施に係る見学を行った際に、次のような印象を受けた。

a. PSC 業務は、港湾施設のパトロールの傍らに行われているのが実情である。

b. PSC 検査対象船舶の選定について、実行部隊の PSCO が港湾行政事務所を出発後、同事務所に駐在する PSCO が入港船リストをもとに APCIS にて検索し、ターゲット船を実行部隊に連絡している。

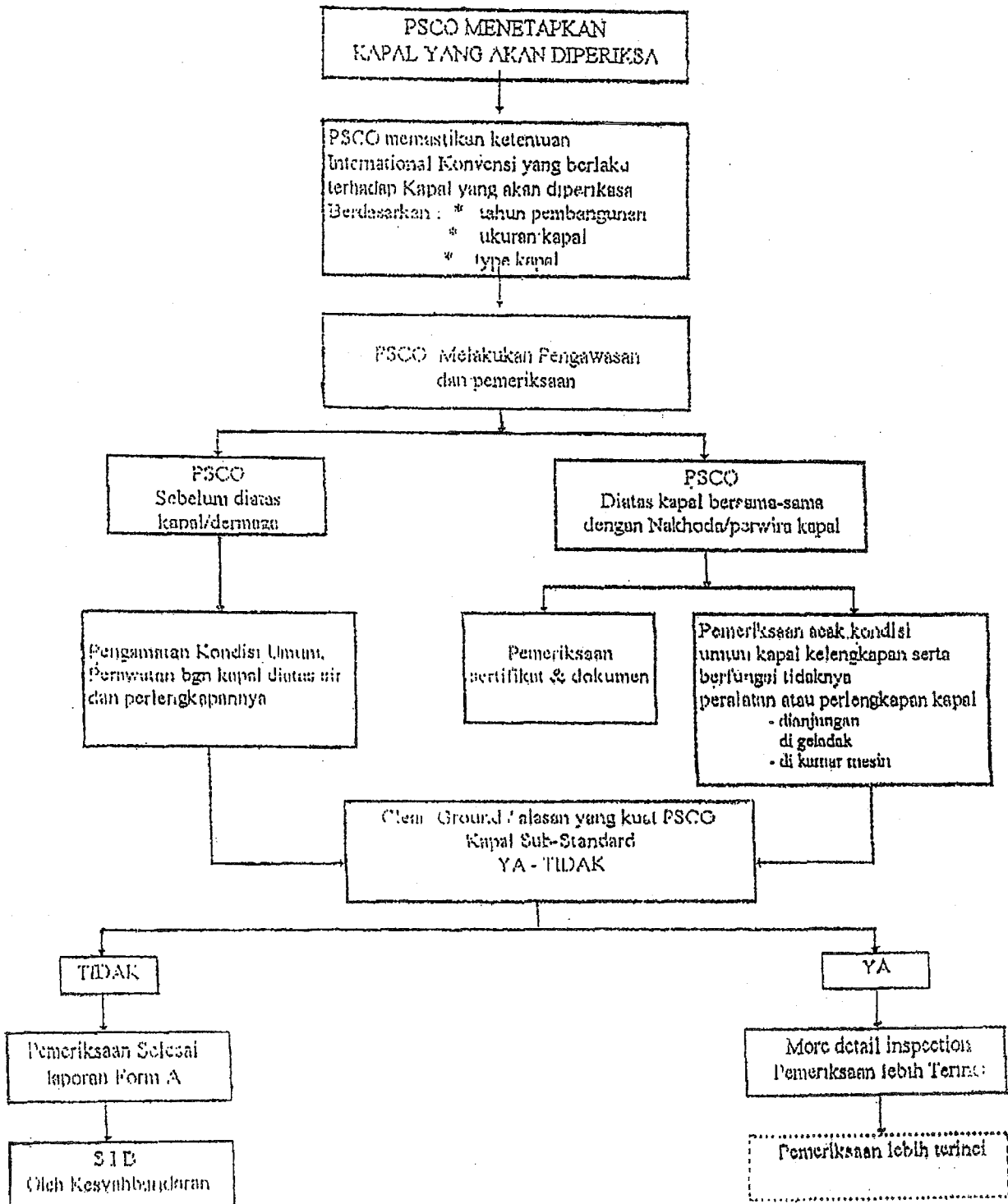
このため、新たな入港船の場合、いつどこで PSC を受けたのか分からない

ため、実際に PSCO が港湾施設をパトロールしているものの、すぐに立ち入り検査を行えず大変非効率的に思えた。

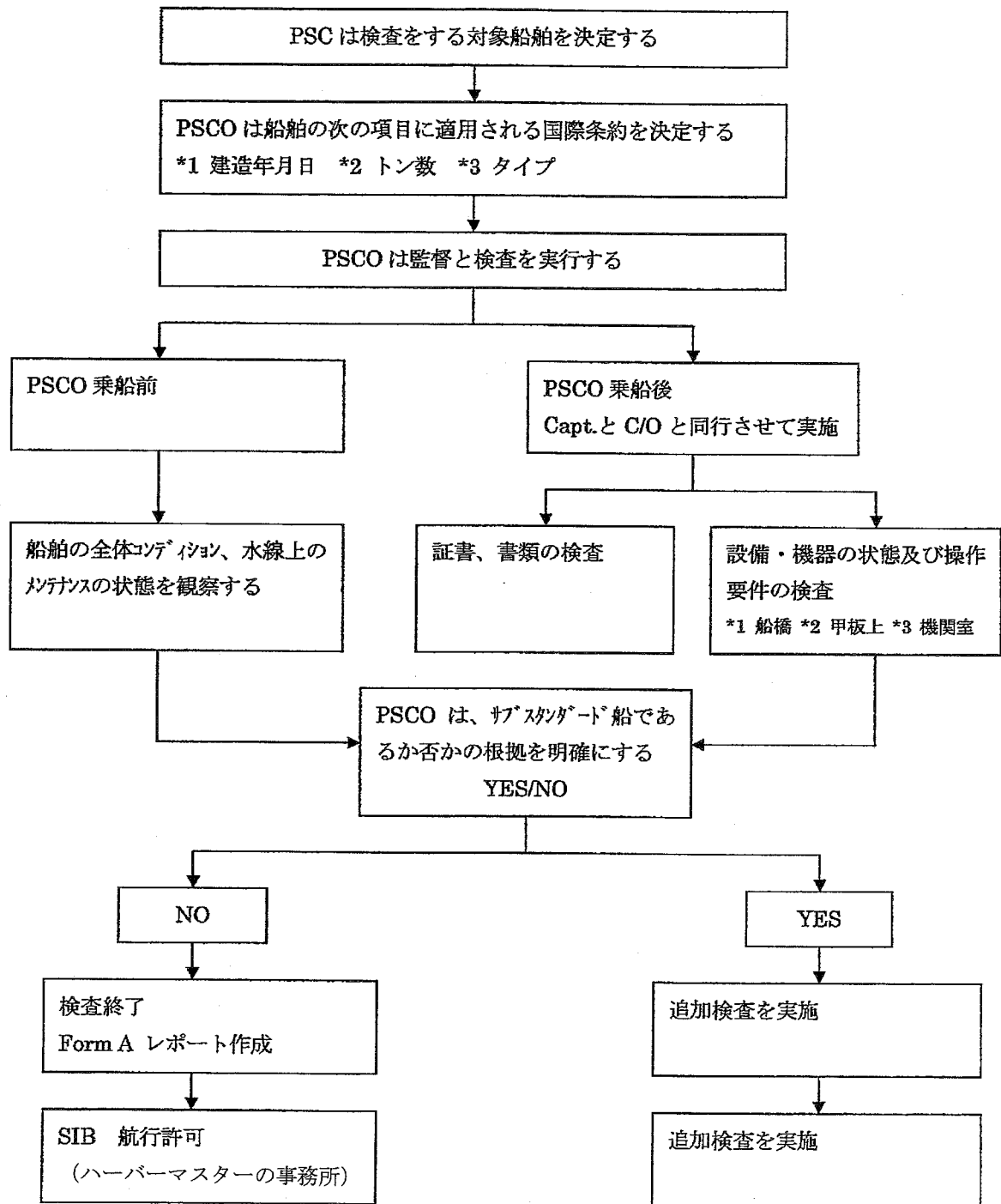
- c. PSC 検査に関するガイドラインがあるものの、非常に概略的なものであり、現場の PSCO はその実施に困惑しているようであった。
- d. 国際条約証書の詳細を見ずに PSC 検査を実施することについて、PSC に関する各国際条約の内容を十分に理解しているか疑問を感じた。
- e. 6 ヶ月以内に実施された船舶ではあったが、外観から多数の欠陥があると推測される 1975 年建造の一般貨物船 (カンボジア船籍) について、何の興味も示さず、脇を素通りして行った。このことから、彼らの PSC に対する意気込みの低さを感じた。
- f. 当港コンテナバースには比較的程度の良い船舶が入港していたが、一般貨物船バースには 1986 年以前の建造船舶 (オープン型ライフボート搭載) が多数入港しており、同国の欠陥指摘数から見ても、適正な検査を実施していないと感じた。
- g. PSCO の Junior クラスの英会話能力が低く、試しに通常の英会話を行ったところ、その能力にも疑問を感じた。

Lampiran T Keputusan Direktur Jenderal
Perhubungan Laut.
Nomor
Tanggal

PROSEDUR DAN PELAPORAN
Pemeriksaan Pokok
IMO RES. A787 (19)

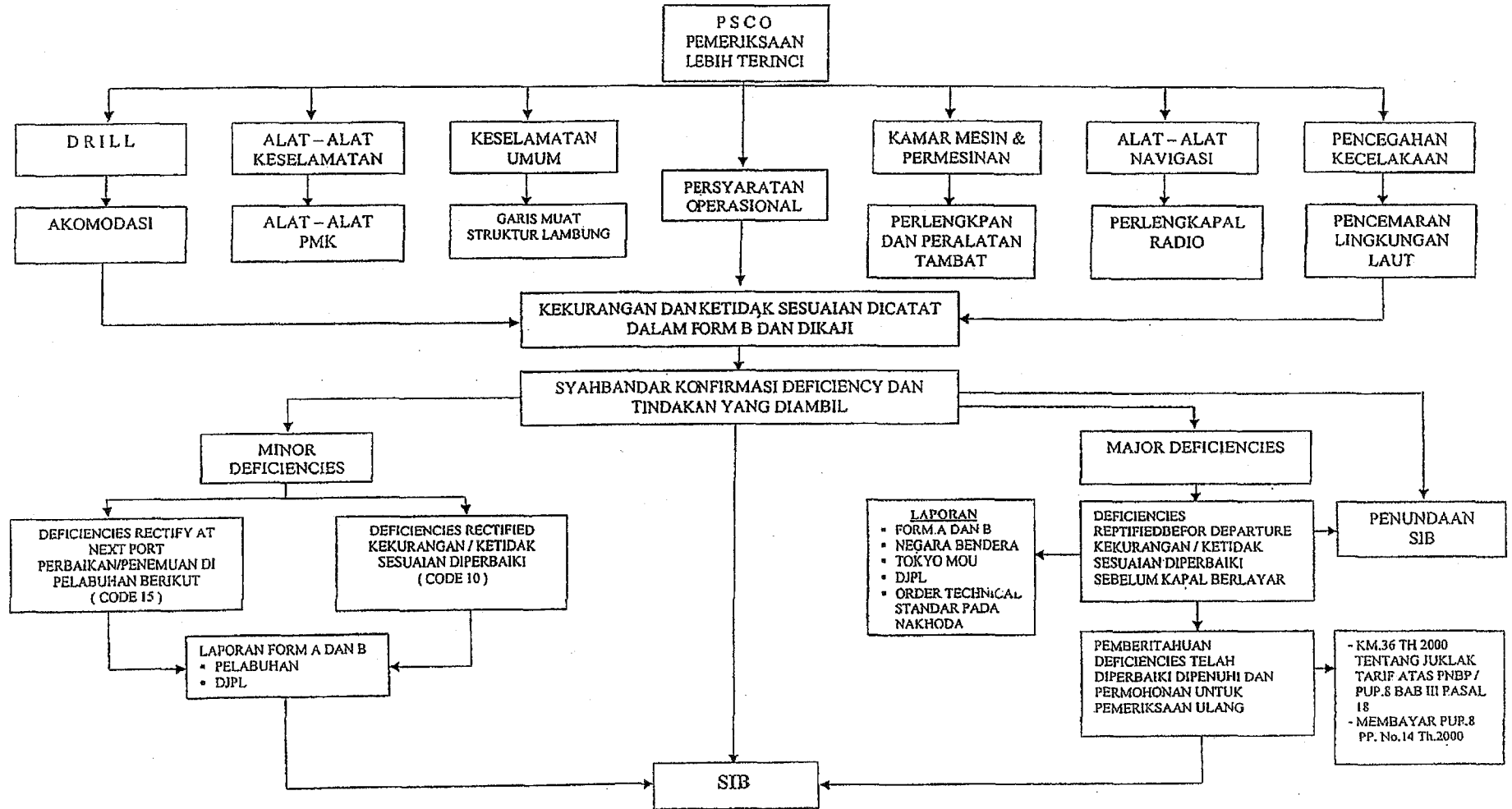


PSC 検査の手順と報告について IMO 決議 A.787 (19) <仮訳>

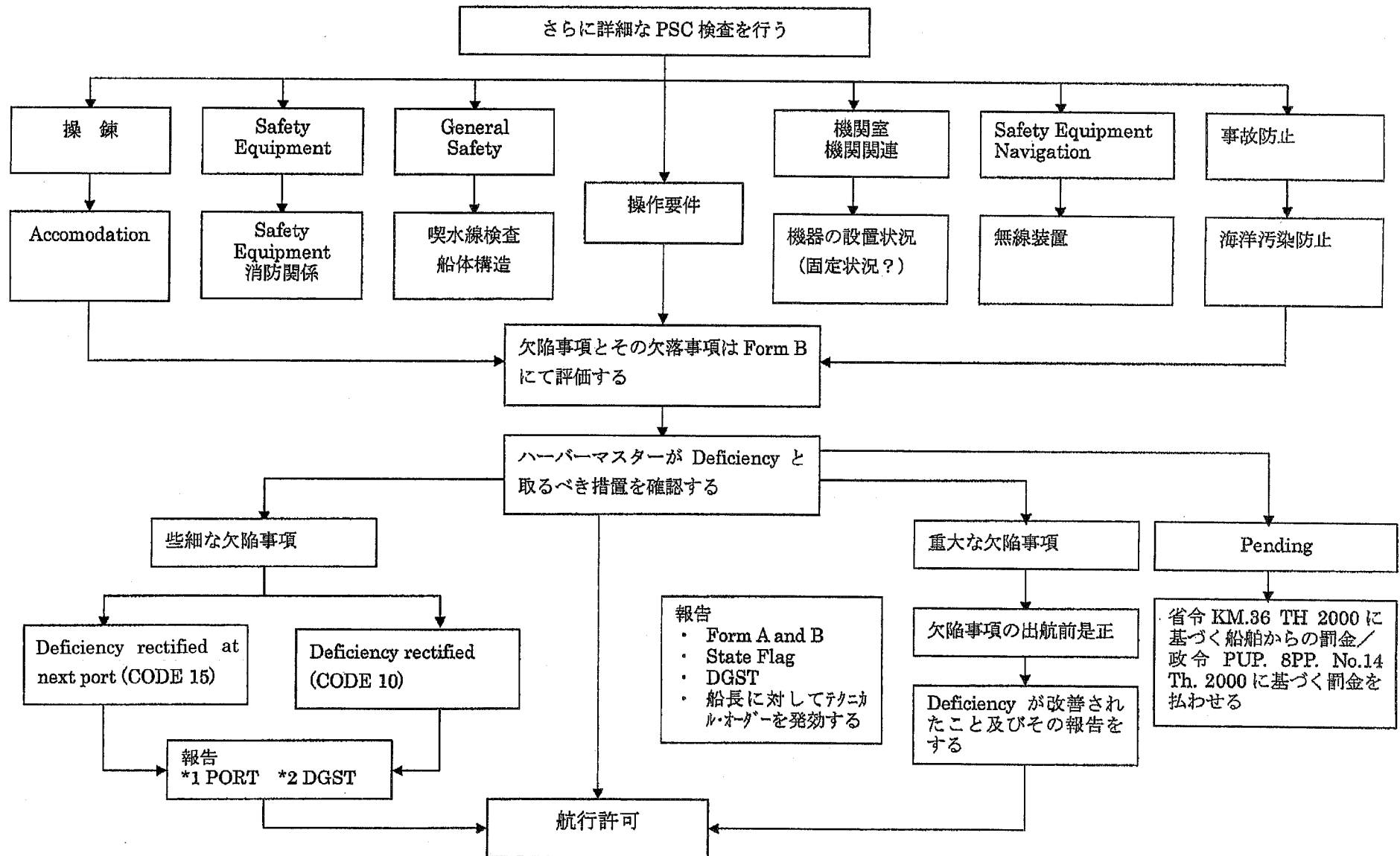


PROSEDUR DAN PELAPORAN
PEMERIKSAAN LEBIH TERINCI
IMO RES. A 787 (19)

別添 10



Detail Inspection 手続きと報告 IMO RES. A 787 (19) <仮訳>



(.....)

PORT STATE CONTROL INSPECTION CHECK LIST

Date of inspection :
 Wharf :
 Name of ship :
 Ship type :
 Ship build :
 Flag of ship :
 Call sign :
 GT :
 Local Agent :

DOCUMENTS

CODE	DETAIL INSPECTION	REFERENCES	RESULT
0221	Certificates for Master and Officers	STCW/CII,III	Yes / No
0222	Certificate for ratings for watchkeeping	STCW/CII/4,III/4	Yes / No
0223	Certificates for radio personnel	S74-17/CIV/R16	Yes / No
1705	Shipboard Oil Pollution Emergency (SOPEP)	M73/78/ANIR26	Yes / No
2320	Garbage management plan	M73/78/ANVR9.2	Yes / No
1911	Procedures & Arrangements (P / A) manual (tankers)	M73/78/ANIIST/C2	Yes / No
2510	Safety and environmental policy	ISM/S2	Yes / No
2599	ISM / Safety Management System manual.	ISM/S2	Yes / No
1115	Cargo securing manual	S74/CVIR5.6	Yes / No
1131	Document of compliance on Dangerous Goods	S74/CVIR5	Yes / No
1132	Booklet for bulk cargo loading/unloading/stowage	S74/CVIR7.3	Yes / No
1635	Maintenance/duplication of equipmen cert. for radio	S74-5.CIV/R15.7	Yes / No
2071	Maintenance of fire Protection system: (CO2,Dry Powder,Foam) certificate	S74-24/CII/R14	Yes / No
2081	Maintenance of Lifesaving appliances: (EEBD, Liferaft, Breathing apparatus)	S74-17/CIII/R20	Yes / No
2330	Garbage record book	M73/78/ANVR9.3	Yes / No
1132	Booklet for bulk cargo loading/unloading	S74/CVIR7.3	Yes / No

Main Port of Tanjung Priok
 P S C O

PORT STATE CONTROL INSPECTION CHECK LIST

Date of inspection :
Wharf :
Agent :
Name of ship :
Ship type :
Ship build :
Flag of ship :
Call sign :
GT :

Deck

CODE	DETAIL INSPECTION	REFERENCES	RESULT
	LIFESAVING APPLIANCES		
0610	<i>Lifeboats</i>	S74-17/CIII/R31	Yes / Not
0615	<i>Rescue boats</i>	S74-15/CIII/R31.2	Yes / Not
0620	<i>Inflatable liferafts</i>	S74-17/CIII/R31]	Yes / Not
0640	<i>Distress flare</i>	S74-2/CIII/R6.3	Yes / Not
0650	<i>Lifebuoys</i>	S74-2/CIII/R7.1, 22.1,32.1	Yes / Not
0660	<i>Lifejackets</i>	S74-17/CIII/R7.2,32.2	Yes / Not
0663	<i>Immersion suits</i>	S74-17/CIII/R32.3	Yes / Not
0669	<i>Two-way VHF radio telephone apparatus</i>	S74-17/CIII/R6.1, 6.2.1	Yes / Not
0669	<i>Radar transponders</i>	S74-17/CIII/R6.1, 6.2.2	Yes / Not
0690	<i>Line-throwing appliances</i>	S74-17/CIII/R18	Yes / Not
0695	<i>On board training and instruction</i>	S74-17/GIII/RJ9.1,2,3,4	Yes / Not
	FIRE SAFETY		
0715	<i>Fire detection/alarm(accom. And service space)</i>	S74-24/CII-2/R7.5.5	Yes / Not
0730	<i>Fire fighting equipment & appliances</i>	S74-24/CII-2/R10.2.1.1.,3.1	Yes / Not
0735	<i>Personal equipment (Fireman's outfit)</i>	S74-24/CII-2/R10.10	Yes / Not
0736	<i>Emergency Escape Breathing Device (EEBD)</i>	S74-24/CII-2/R13.4.3	Yes / Not
0750	<i>International shore connection</i>	S74-24/CII-2/R10.2.1.7	Yes / Not
0755	<i>Fire control plan</i>	S74-24/CII-2/R15.2.4	Yes / Not
	STRUCTURE AND RELATED EQUIPMENT		
0910	<i>Hydraulic and other closing devices/watertight doors</i>	S74-1/CI-1/R24	Yes / Not
0983	<i>Hull /Deck maintenance</i>	S74/CI/R11	Yes / Not
	LOAD LINES		
1011	<i>Freeboard marks</i>	LL66/ANI/R8,	Yes / Not
1020	<i>Doors (gasket, closing devices)</i>	LL66/ANI/R12	Yes / Not
1220	<i>Ventilators, air pipes</i>	LL66/ANI/R19,20	Yes / Not
1240	<i>Cargo and other hatchways condition</i>	LL66/ANI/R14	Yes / Not
	MARPOL		
2120	<i>Garbage</i>	Res.A.787(19)C3.5.66-69	Yes / Not

CODE	DETAIL INSPECTION	REFERENCES	RESULT
	SAFETY OF NAVIGATION		
1530	Radar	S74-24/CV/R19.2.3.,7.1	Yes / Not
1540	Gyro compass	S74-24/CV/R19.2.5.1	Yes / Not
1541	Magnetic compass	S74-24/CV/R19.2.1.1	Yes / Not
1560	Charts	S74-24/CV/R19.2.1.4,R27	Yes / Not
1570	N. Publications (sig. directions, NTM, lists of lights, etc)	S74-24/CV/R19.2.1.4,R27	Yes / Not
1565	Automatic Identifications system (AIS) - (01.07.2002)	S74-24/CV/R19.2.4	Yes / Not
1566	Voyage data recorder (VDR) - (01.07.2002).	S74-24/CV/R20	Yes / Not
1590	International code of signal	S74-5/CV/R21.1	Yes / Not
1591	Life-saving signals	S74-24/CV/R29	Yes / Not
1599	Int. Aeronautical & Maritime SAR (IAMSAR) manual Vol.III	S74-5/CV/R21.2	Yes / Not
1551	Signaling lamp	S74-24/CV/R19.2.2.2	Yes / Not
1575	Echo-sounding device	S74-24/CV/R19.2.3.1	Yes / Not
2815	Marking of IMO Number	S74/CXI-1/R3	Yes / Not
2715	Ship Security alert system (keel 01/07/2004)	S74/CXI-2/R6	Yes / Not
0983	Hull - corrosion	S74/CV/R11	Yes / Not
1170	Dangerous goods codes	S74/CVII/R1.4	Yes / No
	RADIO COMMUNICATION		
1651	VHF installation (test)	S74-5/CIV/R6,7.1.1.,2	Yes / Not
1623	MF/HF radio installation (test)	S74-5/CIV/R10.2.1.,11.1	Yes / Not
1625	INMARSAT ship earth station	S74-5/CIV/R10.1.1.,3.2.1	Yes / Not
1671	Satellite EPIRB 406 MHz/1.6 GHz	S74-5/CIV/R7.1.6,9,3,10.3	Yes / Not
1675	Radar transponders (test)	S74-5/CIV/R7.1.3	Yes / Not
1677	Reserve source of energy (batteries)	S74-5/CIV/R13	Yes / Not
1680	Radio log (diary)	S74-5/CIV/R17	Yes / Not
1685	Operation/maintenance	S74-5/CIV/R15	Yes / Not

Main Port of Tanjung Priok
PSCO

(.....)

PORT STATE CONTROL INSPECTION CHECK LIST

Date of inspection :
 Wharf :
 Agent :
 Name of ship :
 Ship type :
 Ship build :
 Flag of ship :
 Call sign :
 GT :
 Local Agent :

Engine

CODE	DETAIL INSPECTION	REFERENCES	RESULT
	PROPULSION AND AUXILIARY MACHINERY		
1410	Propulsion Main Engine	S74-1/CII-1/R26	Yes / No
1420	Cleanliness of engine room	S74-1/CII-1/R26.7	Yes / No
1430	Auxiliary engine (Generator)	S74-1/CII-1/R26,27.2	Yes / No
1440	Bilge Pump arrangement	S74-1/CII-1/R21.1,3	Yes / No
3045	Incinerator (test)	M73/78/ANVI/R16(2)	Yes / No
0950	Emergency generator (test)	S74-1/CII-1/R43	Yes / No
1499	Emergency steering	S74-1/CII-1/R29.5,7.3	Yes / No
1740	Oil discharge monitoring and control system(test)	M73/78/ANVI/R16.1,2	Yes / No
3045	Incinerator (test)	M73/78/ANVI/R16(2)	Yes / No
	LIFESAVING APPLIANCES		
0610	Lifeboats (motor), test	S74-17/CIH/R31	Yes / No
0615	Rescue boats (motor), test	S74-15/CIH/R31,2	Yes / No
0660	Lifejackets	S74-17/CIH/R7.2,32.2	Yes / No
	FIRE SAFETY		
0715	Fire detection/alarm(accom. And service space)	S74-24/CII-2/R7.5.5	Yes / No
0730	Fire fighting equipment & appliances	S74-24/CII-2/R10.2.1.1	Yes / No
0736	Emergency Escape Breathing Device (EEBD)	S74-24/CII-2/R13.4.3	Yes / No
0739	Emergency Fire Pump (test) -	S74-24/CII-2/R10.2.2.3	Yes / No
0743	Fire - dampers	S74-24/CII-2/R5.2,9.7	Yes / No
0741	Means of control (opening, closure of skylights, pumps etc)- test	S74-24/CII-2/R5.2,7.4	Yes / No
0746	Jacketed piping system for high pressure fuel lines	S74-23/CII-2/R4.2,	Yes / No
0820	Protection machines/parts	S74-1/CII-1/R26.1	Yes / No
2120	Garbage	Res.A.787(19)/C3.5.66-69	Yes / No

Main Port of Tanjung Priok
P S C O

(.)

2008/08/12

PSC に関する研修実績（過去 5 年間）

Result of PSCO Training in the past 5 years

*Fiscal year

	Donor, Type of Training		Number of Trainees (Trg : Training)				
			2004	2005	2006	2007	2008
Internal Training			None	None	30 trainees 10 days	None	30 trainees 4 days in Jakarta
External Training	Australia	Dispatch	—	—	—	—	6 (Planned)
		Seminar	—	—	—	—	42 Basic Trg In Jakarta, Surabaya
	China	Dispatch	—	—	—	—	10
		Seminar	—	—	—	—	—
	Korea	Dispatch	—	—	—	—	Not decided Follow-up Trg.
		Seminar	—	—	—	—	—
	Singapore	Dispatch	—	—	—	—	3
		Seminar	2 class in 2002 2 class in 2003		—	—	—
	USA	Dispatch	—	—	—	—	—
		Seminar	—	—	—	—	21 Improve Trg (Planned)
	Japan	Dispatch	—	—	—	—	—
		Seminar	—	—	—	—	—
	Tokyo MOU	Dispatch	2	2	2	2	3
		Seminar	—	—	—	—	—

● Type of Training

Dispatch : Dispatching training delegation to donor countries

Seminar : Donor countries planed training seminar in Indonesia.

3. 質問票と回答

QUESTIONNAIRE

1. About the PSC system in Indonesia

(1) Organization and the number of PSC Officers.

Ministry of Transportation, Directorate General of Sea Transportation, Directorate of Sea and Coast Guard, Sub Directorate of Marine Safety.

(2) Assignment for PSC Officers in each port (the number of PSC Officers and port name)

NO	DISTRIC	NAME	CODE AREA	REMARKS
1	2	3	4	5
1	Adpel Malahayati	1 FAUZI	9052	
2	Adpel Belawan	2 DIDI A.M.Eng	9052	
		3 JOHAN EFFENDI	9052	
		4 ZAINI LIFAN	9052	
		5 MUAS EFFENDI	9052	
		6 TEUKU FAISAL, S.Sit	9052	
3	Adpel Tg.Priok	7 DANIAL KALBI	9053	
		8 HERI SETIYAWAN	9053	
		9 RAMAN	9053	
		10 M.ADY ISMAIL	9053	
		11 Capt. REYNALDO SJUKRI,MM	9053	
		12 NGADINO	9053	
		13 ARSEN SIMBOLON	9053	
		14 RAJUMAN SIBARANI	9053	
		15 SADMIN	9053	
		16 MOH.ALI,SAP	9053	
4	Adpel Tg.Perak	17 Capt. Drs.ROCKY A.SUHERMAN	9054	
		18 DJATMIKO WIDODO	9054	
		19 SUBAGYO	9054	
		20 TISNO SUCAHYO	9054	
		21 R.D.AGUSTINUS RAY	9054	
		22 SENTOT BOEDI SANTOSO	9054	
5	Adpel gresik	23 SUDAR BASUKI	9054	
		24 SURATNO, SH	9054	
		25 SUKARTOMO	9054	
		26 ANSORI, SH	9054	
6	Adpel Teluk Bayur	27 Capt. EZAU D.KAKISINA	9662	
7	Kanpel Batam	28 HASAN LEURIMA	9663	
		29 YUNAN SYAFII	9663	
		30 SYAHRINALDI	9663	
		31 EZRAL FAHLEPI	9663	

NO	DISTRIC	NAME	CODE AREA	REMARKS
1	2	3	4	5
8	Adpel Dumai	32 Capt PURGANA	9664	
		33 ERIADI	9664	
		34 MARZUKI SIREGAR	9664	
		35 M.IRWAN M.Eng	9664	
9	Adpel Pekanbaru	36 DARMAN	9665	
		37 ZAMZAMI	9665	
10	Adpel Selat Panjang	38 YUSUF SOFYAN	9665	
11	Adpel Tanjung Pinang	39 YEFRI MEDISON	9666	
		40 Capt, BINTANG NOVI	9666	
12	Adpel Jambi	41 MULYONO	9672	
		42 ROETEDJO	9672	
		43 ARGO WIBAWANTO	9672	
13	Adpel Pulau Baai	44 NGODAK SEMBIRING	9673	
14	Adpel Palembang	45 WARSENO	9674	
		46 SUTRISNO	9674	
		47 ZULHIDAYAT, ST	9674	
15	Adpel Panjang	48 HERMANTO	9678	
		49 SUHAIMI	9678	
		50 SWASTANTO AJI	9678	
		51 EDI SUTRISNO	9678	
16	Adpel Banten	52 Ir.SARWO S, MM	9678	
17	Adpel Tg. Emas	53 Capt. KAROLUS SANGADJI	9680	
		54 HARI SOENYOTO	9680	
		55 PRAMONO	9680	
		56 SUMADI	9680	
		57 WILYANTO	9680	
18	Adpel Cilacap	58 I.Y.INDRIANTO	9681	
		59 ROBERTUS MARTUBONG	9681	
		60 HARI WIDIYANTO F	9681	
		61 SUHARDIMAN	9681	
19	Kanpel Tg.Laut	62 GURITNO		
20	Adpel Benoa	63 RACHMADIDJAJA	9687	
21	Adpel Lembar	64 DEDI YUWONO	9690	
		65 TAHER	9690	
22	Adpel Benete	66 MUHAMMAD JUNAIDIN, SH	9690	
23	Adpel Pontianak	67 SLAMET ATMODJO, SH	9700	
		68 THANTAWI DJAUHARI,S SH	9700	
		69 TONY SIAGIAN	9700	
		70 SUBUH FAKKUROCHMAN	9700	
24	Adpel Sampit	71 AGUS SUBAGYO, SH	9703	
25	Adpel Banjarmasin	72 CHRISTIAN KAKASIH	9706	
		73 Capt. ANASRO AMIN	9706	
26	Adpel Balikpapan	74 Capt. GAJAH ROOSENO	9708	
		75 Drs. HAMDANIL	9708	
		76 WAKIDI	9708	

NO	DISTRIC	NAME	CODE AREA	REMARKS
1	2	3	4	5
26	Adpel Samarinda	77 MAHJUDDIN, SH	9709	
		78 TATANG KISNANHTA	9709	
		79 BAKRI UPE, ST	9709	
		80 HELMIN	9709	
27	Kanpel Sangata	81 ISWANDI, Msi	9709	
28	Kanpel Lhoktuan	83 SURYA NEGARA NASUTION	9709	
29	Adpel Nunukan	84 BASLAN D, SH	9710	
30	Adpel Bitung	85 Capt. P.K.SINGALE	9712	
31	Adpel Manado	86 TONY E RAMPENGAN	9713	
32	Adpel Makassar	87 RUSTAM MARANGSANG	9716	
		88 MARTHIN ROBERT PARAENG	9716	
		89 AFRIANUS TAPANGAN	9716	
		90 AKIB	9716	
		91 Capt. BRUTJE	9716	
		92 ELVIS PARANSI	9716	
		93 YANSEN RAMPU	9716	
33	Adpel Pare-Pare	94 TAUFIQ BULU	9717	
		95 Ir. NURWAHIDAH	9717	
		96 ARI MASIKI	9717	
		97 YUSUF IMRAN, BSc	9717	
34	Kanpel Tual	98 JUSUF HELJANAN, ST	9717	
35	Adpel Ambon	99 MOZES IMANUEL KARAENG	9720	
36	Adpel Ternate	100 AFFAN TABONA	9721	
		101 JESAJA SARITA	9721	
		102 ALI IBRAHIM	9721	
		103 YOHANES GANI	9721	
37	Adpel Jayapura	104 IRIANTO DAHLAN	9722	
38	Adpel Sorong	105 NUR SUKMANADJATI,MM	9723	
		106 DEMIANUS KOWA	9723	
		107 MARTHIN SAHERTIAN	9723	
		108 JHON M.MANIAGASI	9723	
39	Adpel Merauke	109 JULIANUS THE	9725	
		110 J.DONGGIRI	9725	
41	Adpel Biak	111 BENYAMIN KWANO	9725	
42	Head Office	112 Capt. JONGGUNG SITORUS, MM	9053	
		113 Capt. SUPARDI, M.Mar	9053	
		114 RAHMAT DESRIAL	9053	
		115 MOHAMAD NASIR, S.Sit	9053	
		116 HOT MAROJAHAN	9053	

- (3) Training Program for PSC Officer and expense Budgeting.

Not every years get budget for PSC training

- (4) Condition for Adopting PSC Officers.

Master, Chief Mate, Second Mate, Chief Engineer, Second Engineer, Naval Architectur
(Leader)

Third Mate, Third Engineer, (Assistan)

Marine Inspector

Basic PSC

Sailing experience

- (5) Relation with PSC Organization and ETA, META

N/A

2. Anual achievement for PSC implementation in Indonesia (inspection, deficiency, detention and so on)

Period of Inspection : 01 January up to 11 August 2008 (Report to APCIS)

Total number of inspections : 92

Total number of ships with deficiencies : 5

Total number of deficiencies : 13

Total number of detentions : 1

3. Annual number of Foreign Ship entering to each international port of Indonesia.

Around 1000 ships per month include passanger ferry to 141 of International port of Indonesia

4. The access environment (facility, equipment, setting place and so on) for PSC Offices to APCIS.

Not facility and equipment for PSC Officer to APCIS..

4. 要請案件調査票（専門家）（案）

専門家（平成20年度実施分）

専門家指導科目 ポート・ステート・コントロールの強化
専門家指導科目(英) Strengthening of Port State Control
希望する専門家●日本人専門家 ○第三国専門家 ○在外技術研修講師
(日本人専門家の場合) ●一般専門家 ○広域専門家 ○国際機関専門家
(在外技術研修講師の場合)研修コース名; _____
配属機関 (運輸省海運総局)
カウンターパート職位 (Director, Sea and Coast Guard _____)
専門家活動場所 ジャカルタ (首都から _____ km)
専門家派遣人月 1名×24ヶ月=24人月
新規継続区分 ●新規 ○後任(前任者がいる場合、前任者名: _____)
○延長(延長者の名前: _____)
派遣開始時期 2008年11月下旬 (*可能であれば200年 月 旬頃から派遣希望)
派遣の目的

世界最大の島嶼国であるインドネシアは、経済活動、国民生活を海運に大きく依存しており、海運の安全性確保は同国にとって極めて重要な課題である。海運安全性確保のためには、自国籍船舶の安全確保とともに、自国に寄港する外国船舶についても安全基準を満足していない船舶(サブスタンダード船)の排除を図ることが不可欠であり、この方策としてポート・ステート・コントロール(PSC)は非常に有効な手段である。インドネシア海運は、外航貨物輸送の9割以上、内航でも相当の部分を外国船舶に依存しており、このような事情からも海運の安全確保におけるPSCの役割は重要である。

しかしながら、インドネシア当局によるPSCの実施状況は全く不十分なものであり、東京MOU(アジア・太平洋地域におけるPSCの実効性確保のための域内協力体制強化を目的として採択された域内各国間の覚書)の加盟国の中でも最低のレベルにあるのが実状である。2007年の東京MOUによる報告では、同国に入港する外国船舶4,404隻のうち、PSC検査の実施船舶は179隻(4.06%)、欠陥事項の指摘52件、拘留隻数1隻(0.53%)であった。(同年の東京MOU域内のPSC検査率は66%、拘留率は5.62%であった。)

かかる状態の主な原因は、インドネシアのPSC担当官の能力不足並びに適切なPSC実施体制の未整備によるものであるが、PSCにおいて欠陥が適確に発見され是正がなされなければ、サブスタンダード船の横行を許す結果となり、海上交通における潜在的な危険性を増大させるとともに、公正で適切な海運競争を阻害する要因ともなる。このような状況に鑑み、インドネシアのPSC担当官の能力を高めるとともに効果的・効率的なPSC実施体制を確立することによって、インドネシアのPSCを強化し、同国海運の安全性向上を図るため、技術協力を行うことを目的とする。

期待される成果

- 以下のとおり、インドネシアのPSCの実施体制が強化される。
1. インドネシアのPSC担当官の能力が強化される。
 2. 効果的且つ効率的なPSC実施体制が確立される。(実用的なPSC実施マニュアルの整備を含む。)

活動内容

国際条約に基づく現在の検査体制を確認し、それらに係る改善点を分析のうえ、PSC担当官の質を向上するためのアクションプランをまとめ、具体的には、実用的なPSC実施マニュアルの整備、担当者に対する訓練、セミナー／訓練を実施する。

専門家資格要件

年齢制限 35才以上 60才未満
関連実務年数 10年以上
学歴 博士 修士 学士以上 その他
その他資格 _____

使用言語

C/Pとの業務上のコミュニケーション言語 英語

C/Pのその他可能「国連公用語」 語 現場等で使用するその他言語 インドネシア語

- 語学要件 S:極めて高い語学能力(英語であれば TOEIC860 以上)が求められる専門家
【例:政策アドバイザー等で、ドナー会議等高度な英語力を必要とする会議に出席が求められる場合、もしくは C/P が当該言語に精通し、かつ C/P 以外の関係者等を巻き込んで複雑な調整が必要な場合等】
- A:高い語学能力(英語であれば TOEIC730 以上)が求められる専門家【例:政策アドバイザー等で C/P が当該言語に精通している場合、もしくは C/P 以外の関係者等を巻き込んで複雑かつ高度な調整が必要な場合等】
- B:業務上、十分な語学能力(英語であれば TOEIC640 以上)が求められる専門家【例:①政策アドバイザー、②現場技術移転型専門家等で C/P が当該言語に精通している場合等】
- C:業務上、必要最小限の語学能力(英語であれば TOEIC500 以上)が求められる専門家【例:現場技術移転型専門家】
- D:上記 S~C いずれにも該当しない専門家。

留意事項 _____

その他必要な経験能力 船舶の安全に対する経験または能力を有する

リクルート上の留意点 インドネシア語習得に係る意欲、カウンターパートや他のドナーとの意見交換及び情報共有に対する積極性が求められる

※以下は第三国専門家を要望する場合、記載のこと。

第三国専門家タイプ 補完支援型 普及発展型 日系

日本の技術協力との関連 案件名 _____

専門家リクルート上の希望

国名 _____

機関名 _____ 官 民

*普及発展型は専門家候補者が育成された案件名も記入のこと

専門家候補者名 _____

連絡先 _____

(電話番号・E-mail Address など)

コンタクトの有無 有 無

5. 要請案件調査票（研修）（案）

研修(平成 21 年度実施分)

* 平成 21 年度技術協力要望案件(新規)である「技術協力個別案件(研修)」、および「技術協力プロジェクト」の投入手段として位置付けられる研修のうち平成 21 年度に実施する研修員受入(「国別研修」及び「在外技術研修」)について作成のこと(すでに採択・実施中の技術協力プロジェクトに付随する研修および複数年度採択済みの技協個別案件(研修)の 2 年時以降については、案件別投入計画で別途 JICA 在外事務所に確認する)。「在外技術研修(現地国内研修、第三国研修)」は*の 1-3 のみを必ず入力すること。課題別研修へ国別研修枠での参加を希望する場合(別途送付する地域別研修・集団研修の要望調査実施要領を参照)は、以下1 のカテゴリーのみ選択すること。

1 カテゴリー(*)

<input checked="" type="checkbox"/> 本邦研修	<input checked="" type="checkbox"/> 国別研修	<input type="checkbox"/> 長期研修	<input checked="" type="checkbox"/> 在外技術研修	<input type="checkbox"/> 現地国内研修
	<input type="checkbox"/> 国別研修(課題別研修への参加)			<input type="checkbox"/> 第三国研修

* 在外技術研修講師の有無 有 無 (在外技術研修の場合、本邦より講師派遣を要望する場合は選択入力し、付属資料 1. 専門家も併せて入力すること)

2 研修科目(*)

(和) PSC の強化	(英西仏) Strengthening of Port State Control
-------------	---

3 実施時期(*)

2009 年 10 月中頃から 3 週間

4 受入人数(平成 21 年度実施分)

本邦研修(長期研修を含む)の場合、必須事項

4 人(男女別の内訳	(可能な限り男女別に記載する。))
------------	-------------------

5 使用言語

英語

6 (要請案件調査票で述べられている)プロジェクトのなかで本研修はどのように位置づけられているのか、本研修の成果がプロジェクトにどう反映(フィードバック)されるのか(技術協力個別案件(研修)の場合は記入不要)

本邦研修を受講した研修員は帰国した後に、海運総局主催によるセミナーに参加し、PSC に係る知識の普及を図ることを計画する。

7 本研修に求める成果

(1) 誰に対する研修か(対象者及びその職務内容)

PSC 検査官 外国船に対する船舶の安全性、環境汚染防止、船員の資格、船舶運航技術のレベル、労働条件その他に関する検査
--

(2) 対象者が職務を執行する上での課題

国際条約、規則において要求される内容と同国 PSCO の能力との比較
日本の PSC 検査の実施方法に関する理解

(3) 対象者の現在のレベル

PSC 検査の経験を有する中級レベル以上の検査官、及び PSC 検査官の研修講師

(4) 参加者に何ができるようになって欲しいか (到達目標)

適切な PSC の実施。
自国 PSC 検査官の教育訓練。

(5) 何を教えて欲しいのか

研修項目	具体的内容・時間	想定できる研修希望先 /住所/電話	研修希望先との調整状況 (内諾済/打診中/未)を選択
PSC に係る条約要件	SOLAS、MARPOL、その他関係する条約、規則の解釈及び改正の内容等	国土交通省 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3 TEL03-5253-8111	未
検査の方法	PSC 検査の手順、内容、判断基準等	国土交通省	未
操作要件	安全設備、その他船舶の設備、機器等の操作に関する検査の方法	国土交通省 (独)航海訓練所 横浜市中区北仲通 5-57 TEL045-211-7310	未
OJT	船上訓練	国土交通省	未

(5)-2 補足情報 (ある場合。長期研修の場合、博士/修士の別、願書締切年月及び入学年月を記載。)

希望する視察先:
造船所、船用機器事業所

想定される研修先の担当者及びプロジェクトとの関係:
国土交通省海事局、長期専門家派遣元

本研修に関連する情報を提供できる国内関係者:
国土交通省海事局、東京 MOU 事務局

選考・入学プロセス(長期研修員のみ)

課程の別: 博士課程 修士課程 願書締切月: 年 月 入学月: 年 月

(6) 実施回数(年間)

平成 21 年度 ～ 22 年度まで 計 2 回実施。

単年度実施 複数年実施 (毎年実施 隔年実施)

(複数年実施:旧国別特設研修、在外研修のように、複数回同じ研修をする場合)

8 General Information (G.I.)による応募勸奨の必要性があるか

不要 必要(理由:)

9 コストシェア(CS)の可能性

<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	先方政府 負担項目	<input type="checkbox"/> 往復 航空費	<input type="checkbox"/> 宿泊費	<input type="checkbox"/> 生活費	<input type="checkbox"/> 支度料	<input type="checkbox"/> 空港使用 料	<input type="checkbox"/> 空港 送迎料	<input type="checkbox"/> 国内旅費	<input type="checkbox"/> 研修経費
---	--------------	------------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

